

一般社団法人 日本詩人クラブの沿革 (全文)

昭和23 (1948) 年春、正富汪洋が豊田実を訪ね、提唱。山宮允に準備を任せ、翌24 (1949) 年10月3日、日夏耿之助、西條八十、柳沢健、正富汪洋、豊田実、山宮充を發起人として会合を開いた。交通不便の当時のことで、13名来会。その後、9回ほど会合を重ねた。

会名を日本詩人クラブ、機関誌を『詩界』とし、第一期会員を60人ぐらいの範囲で出発しようということになり、業務担当を決めた。

すなわち、(1)渉外 (豊田実、柳沢健) (2)編集・出版 (正富汪洋、佐藤春夫、服部嘉香、野田宇太郎) (3)庶務・会計 (正富汪洋、森川葵村、石川道雄、服部嘉香) (4)講演・放送 (柳沢健、南江治郎) である。

そして、昭和25 (1950) 年5月14日午後、明治神宮北の休憩所で発会式ならびに第一回総会を開いた。

出席者は、河井醉茗、山宮允、石川道雄、牛山充、大木惇夫、大野良子、尾島庄太郎、門田穰、川路柳虹、小牧健夫、西條八十、斎藤勇、佐藤春夫、城左門、豊田実、中西悟堂、南江治郎、西崎一郎、野田宇太郎、能村潔、服部嘉香、平野威馬雄、前田鐵之助、正富汪洋、柳沢健、大和資雄の26名。

蒲原有明からメッセージ、土井晩翠から祝電があり、英国詩人フレーザーは夫人同伴で来会した。

司会は柳沢で、西條理事長の挨拶、山宮常務理事の挨拶、経過報告、正富理事の業務報告、計画の後、規約承認その他があり、会員の自己紹介、フレーザーの挨拶、詩の朗読を行い盛会であった。

この会より前の3月18日には、旧赤坂離宮内エジプトの間でエドモンド・ブランデンの送別会を開いたり、5月26日、毎日ホールで開催された日本女流詩人会と冬柏同人主催の与謝野晶子祭には正富汪洋出席、感想文を朗読。

7月9日、吉田晴風逝去、告別式には柳沢健が弔辞を読んだ。

11月9日、文化勲章を受けた土井晩翠が仙台から上京、「土井晩翠翁の夕」を東京朝日新聞講堂で開催、盛会であった。

(理事長) 西條八十。(常務理事) 山宮允。(理事) 石川道雄、佐藤春夫、豊田実、南江治郎、野田宇太郎、服部嘉香、正富汪洋、森川葵村、柳沢健。(評議員) 石川道雄、勝本正晃、川路柳虹、斎藤勇、斎藤正雄、佐藤清、中西悟堂、堀口大学、前田鐵之助、山田耕筰、大和資雄。事務所を正富方に置き、名誉会員に河井醉茗、蒲原有明、土井晩翠、エドモンド・ブランデンを仰ぎ、会員65名で発足した。

『詩界』第1号を昭和25年10月30日に刊行、88頁である。第2号は土井晩翠記念号として昭和26年9月発行、88頁。会員も140名に増え、事務所は昭和女子大学構内に置くことができた。

第1号から日本詩人クラブ会報と表紙にあるが、第3号から第49号までは表紙のない10頁前後の毎月刊行の会報形式であり、第50号から雑誌形態にかわり、季刊から、やがて隔月刊となった。

昭和26年 (1951年)

◦11月から「詩研究会」を設け、毎月開催、約2年間続く。

昭和27年 (1952年)

◦2月3日、名誉会員蒲原有明逝去、『詩界』で追悼集を出す。

◦4月、第3回総会の改選役員は、(理事長) 西條八十。(常務理事) 山宮允、中西悟堂、柳沢健。(理事) 安部宙之介、石川道雄、勝本正晃、門田穰、川路柳虹、佐藤春夫、豊田実、南江治郎、野田宇太郎、服部嘉香、人見円吉、堀口大学、正富汪洋、森川葵村。(評議員) 大野良子、斎藤勇、斎藤正雄、佐藤清、城左門、前田鐵之助、山田耕筰、山村順、大和資雄であった。

◦6月26日、福田正夫逝去、弔辞をおくる。

◦9月、国際詩人会議をベルギー政府主催で開催。日本詩人クラブ、現代詩人会共同のメッセージを送る。

◦9月20日、秋季大会を昭和女子大学講堂で開催。(講演) 西條八十、村野四郎、川路柳虹。詩朗読、舞踊あ

り。

- 10月19日，土井晩翠（名誉会員）逝去。例会は，追悼講演を行った。
- 11月，中西悟堂「越冬燕」歌碑が千葉県東金市に建つ。
- 12月13日，蒲原有明，土井晩翠追悼講演会を昭和女子大学講堂で開催。（講演）矢野峯人，佐藤清，斎藤勇。詩朗読，独唱等。

昭和28年（1953年）

- 4月「中西悟堂野鳥の句碑」が福島県郡山市郊外に建つ。
- 5月，柳沢健逝去，7月，追悼会を開く。

昭和29年（1954年）

- 5月，柳沢健作校歌の「花塚」福島県熱塩温泉に建つ。
- 「国語表記改定に関する吾々の意見」を日本詩人クラブ有志として公表。
- 9月2日より5日間，ベルギーで開催の国際詩人会議に日本詩人クラブ，現代詩人会連署のメッセージを出席の安藤一郎に託す。
- 11月「詩の朗読と講演会」を昭和女子大学講堂で開催。（講演）安藤一郎，勝本正晃，金子光晴。（独唱会）浅野千鶴子。

昭和30年（1955年）

- 3月，5年振り来日のブランデン氏歓迎会を開く。
- 5月，現代詩人会「5月の詩祭」で河井醉茗が先達詩人として表彰された。
- 9月25日，『現代詩選』第1集（河出書房版）刊行。編集委員（服部，川路，門田，中西，正富，安部，西條，山宮，柳沢）。
- 11月，湯浅半月詩碑，群馬県安中に建つ。山宮允碑文。

昭和31年（1956年）

- 4月2日，高村光太郎逝去。
- 5月，総会で役員改選。（理事長）西條八十。（常務理事）安部宙之助，山宮充，多田三七，豊田実，中西悟堂，服部嘉香，人見円吉，正富汪洋。（理事）石川道雄，勝本正晃，門田穰，川路柳虹，佐藤春夫，南江治郎，堀口大学。
- 11月10日，「高村光太郎，百田宗治を偲ぶ会」を昭和女子大学講堂で開催。（講演）安藤一郎，尾崎喜八，川路柳虹，白鳥省吾。詩朗読，舞踊。

昭和32年（1957年）

- 1月，第1回役員新年懇談会を銀座樽平にて開く。以後，10年にわたって毎春開催。
- 4月12日，菊池寛賞を受けた昭和女子大学近代文学研究会代表人見円吉，芸術院賞（「波」その他の業績による）を受けた川路柳虹，小川未明賞（「コタンの口笛」による）を受けた石森延男三氏の受賞祝賀講演会を開く。
- 5月，川路柳虹，現代詩人会「5月の詩祭」で先達詩人として功績を表彰された。
- 6月，山田耕筰，文化勲章受章。堀口大学，芸術院会員加入祝賀会開催。
- 8月，『詩界』第50号で「世界平和促進特集」刊行。
- 10月「THE LYRIC GARLAND」（会員の英，仏，独語の国際的詩集）北星堂より刊行。

昭和33年（1958年）

- 1月，乾直恵逝去。
- 10月『文学談叢』刊行，吾妻書房版。

昭和34年（1959年）

- 2月，石川道雄逝去。

- 4月, 石川道雄追悼記念講演会を昭和女子大学講堂で開く。(講演)吹田順助, 高橋義孝。詩朗読。
- 同月17日, 川路柳虹逝去。
- 5月, 室生犀星, 現代詩人会「5月の詩祭」で先達詩人として功績を表彰された。
- 7月, 『現代詩選』第2集刊行, 吾妻書房版。
- 10月10日, 川路柳虹追悼記念講演, 詩朗読ならびに著作展示会開催。(講演)服部嘉香, 村野四郎, 勝本正晃。
- 11月, 信州浅間町に佐藤春夫詩碑建つ。

昭和35年(1960年)

- 室生犀星「かげろふの日記遺文」で野間文芸賞100万円を得た。その30万円をあて, 室生犀星詩人賞を出すことになる。
- 4月, 上野公園不忍池畔に西條八十「かなりや」碑が建つ。
- 5月, 正富汪洋詩碑が郷里岡山県邑久郡本庄市に建つ。
- 同月, 堀口大学, 日本現代詩人会「5月の詩祭」で先達詩人として功績を表彰された。
- 7月, 小牧健夫逝去。
- 8月, 佐藤清逝去。
- 11月12日, 10周年記念「講演, 朗読, 独唱, 映画の会」開催。(講演)伊福部隆彦, 木村毅。映画は英国大使館提供。
- 12月, 佐藤春夫, 文化勲章受章祝賀会開く。
- 同月, 千葉勉逝去。

昭和36年(1961年)

- 5月1日, 『現代詩選』第3集刊行。
- 同月, 佐藤春夫, 日本現代詩人会「5月の詩祭」に先達詩人として功績を表彰された。
- 5月7日, 新体詩祖之碑, 河井醉茗詩碑(日本詩人クラブ, 日本現代詩人会, 詩学社, 搭影詩社共同発起)昭和女子大学構内に建つ。除幕式と詩歌人の自作自筆展示会, 新体詩祖, 醉茗著書展示会開催。
- 11月, 中西悟堂, 鳥類研究多年の研究により紫綬褒章を受ける。

昭和37年(1962年)

- 2月, 西條八十, 芸術院会員となる。
- 同月, 衣笠静夫逝去。
- 3月26日, 室生犀星逝去。

昭和38年(1963年)

- 5月, 西條八十, 日本現代詩人会「5月の詩祭」で先達詩人として功績を表彰された。
- 5月, 『現代詩選』第4集刊行。
- 9月, 城谷黙逝去。

昭和39年(1964年)

- 5月, 服部嘉香, 日本現代詩人会「5月の詩祭」で先達詩人として功績を表彰された。
- 5月, 佐藤春夫逝去。
- 5月9日, 総会で役員改選。(初代会長)西條八十。(理事長)山宮允。(常務理事)安部宙之助, 多田三七, 門田穰, 豊田実, 中西悟堂, 南江治郎, 服部嘉香, 人見円吉, 正富汪洋。(理事)尾島庄太郎, 勝本正晃, 斎藤正雄, 中原綾子, 西村稠, 古川清彦, 堀口大学, 村松正俊, 山下正次, 吉田正俊。
- 11月, 広岩敬太郎逝去。

昭和40年(1965年)

- 1月17日, 河井醉茗(名誉会員)逝去。

- 5月, 白鳥省吾, 日本現代詩人会「5月の詩祭」で先達詩人として功績を表彰された。
- 5月8日, 総会で正富汪洋理事長となり, 山宮允を名誉会員とする。
- 6月1日, 『現代詩選』第5集刊行。
- 8月, 木下夕爾逝去。
- 10月16日, 創立15周年記念講演会を昭和女子大学講堂で開催。(講演) 西脇順三郎, 矢野峯人, 西條八十。
- 12月, 山田耕筰逝去。

昭和41年(1966年)

- 5月, 総会で豊田実理事長となる。
- 12月, 西村稔逝去。

昭和42年(1967年)

- 1月22日, 山宮允(名誉会員)逝去。
- 8月14日, 正富汪洋逝去。
- 秋の叙勲に, 服部嘉香, 勲四等旭日小綬章を受く。

昭和43年(1968年)

- 春の叙勲に, 西條八十, 勲三等瑞宝章を受く。
- 5月, 『現代詩選』第7集刊行。
- 第1回日本詩人クラブ賞, 木村孝受賞(詩集『5月の夜』)。
- 5月, 総会で服部嘉香理事長となる。
- 5月10日, 人見東明, 日本現代詩人会「5月の詩祭」で先達詩人として功績を表彰された。
- 6月, 敬天牧童(野田良治)逝去。
- 10月, 吉沢独陽逝去, 古賀残星逝去。

昭和44年(1969年)

- 1月, 杉浦盛雄逝去。
- 2月, 昭和女子大学近代文庫に「正富汪洋文庫」ができた。
- 4月, 『現代詩選』第8集刊行。
- 4月, 『詩界』第100号記念号刊行。
- 5月, 第2回日本詩人クラブ賞, 北一平受賞(詩集『魚』)。
- 6月, 栗原古城逝去。
- 8月, 中原綾子逝去。
- 11月, 『詩界』中原綾子特集刊行。

昭和45年(1970年)

- 2月, 人見東明特集『詩界』刊行。
- 4月, 『現代詩選』第9集刊行。
- 5月, 大木惇夫, 日本現代詩人会「5月の詩祭」で先達詩人として功績を表彰された。
- 5月5日, 市ヶ谷会館にて総会, 役員改選, (名誉会員) 西條八十, 堀口大学, (会長) 中西悟堂, (理事長) 安部宙之介となる。総会終了後, 創立20周年祝賀会開催。
- 第3回日本詩人クラブ賞, 武田隆子受賞(詩集『小鳥の影』)。
- 6月, 第1回, 現代詩研究会を始め, 毎月例会とともに開催。
- 8月12日, 西條八十(名誉会員)逝去。
- 20周年記念特集『詩界』刊行。
- 12月, 西條八十追悼『詩界』刊行。

昭和46年（1971年）

- 4月、『現代詩選』第10集刊行。
- 5月、第4回日本詩人クラブ賞、西岡光秋受賞（詩集『鶴匠』）。
- 6月、『詩界』は第1、2号（野田宇太郎）、第3号より32号まで（門田穰）、第33号より111号まで（安部宙之介）が編集。第112号より（薩摩忠、木村孝、北一平、西岡光秋、山下千江、折戸彫夫、関根九雀、丸山勝久、小原祥子）の編集となる。
- 文化の日に、岡村二一、勲二等旭日重光章を、中西悟堂、勲三等旭日中綬章を、西脇順三郎、文化功労者に、田中冬二、紫綬褒章を受章した。

昭和47年（1972年）

- 3月、『現代詩選』第11集刊行。
- 5月、役員改選、（会長）安部宙之介、（理事長）門田穰就任。名誉会員に人見円吉、服部嘉香、豊田実、中西悟堂を、相談役に大和資雄、南江治郎、勝本正晃、斎藤勇、斎藤正雄、尾島庄太郎、石森延男、田中冬二、前田鐵之助各氏推挙。
- 第5回日本詩人クラブ賞該当者なく、特別賞を日本近代詩論研究会代表人見円吉氏に贈る。
- 『詩界』編集部会、森山隆平、船越健之輔、宇佐美好弘となる。
- 11月22日、豊田実（名誉会員）逝去。

昭和48年（1973年）

- 4月、井上康文逝去、勲五等双光旭日章追叙さる。
- 4月、天皇誕生日に、大木惇夫勲四等旭日小綬章を受章した。
- 5月、第6回日本詩人クラブ賞、田村のり子受賞（詩論『出雲硯地方詩史50年』）。
- 5月、『現代詩選』第12集刊行。
- 6月、『詩界』豊田実追悼号刊行。
- 8月、白鳥省吾逝去。

昭和49年（1974年）

- 1月20日、エドモンド・ブランデン（名誉会員）逝去。
- 2月4日、人見円吉（名誉会員）逝去。
- 2月22日、白井喜之介逝去。
- 4月、東京都下高尾山に中西悟堂詩碑、愛知県立八幡浜高校に高橋新吉詩碑が建つ。
- 5月、第7回日本詩人クラブ賞、石原武、村上草彦受賞〔詩集『離れ象』（石原）、詩集『橋姫』（村上)〕。
- 6月、島根県立大社高校に安部宙之介詩碑が建つ。
- 6月、『詩界』人見東明特集号刊行。
- 6月、『現代詩選』第13集刊行。
- 9月、昭和女子大学理事長人見楠郎氏に、日本詩人クラブに対する援助を依頼する。会長・理事長・江頭常任理事出席。

昭和50年（1975年）

- 5月、第8回日本詩人クラブ賞、高橋渡受賞（詩集『冬の蝶』）。
- 5月10日、服部嘉香（名誉会員）逝去。
- 6月14日、日本詩人クラブ25周年記念祝賀会を南青山会館において開催。（講演）逸見久美。
- 6月、理事長門田穰逝去。
- 6月、『詩界』第131号から、高橋渡、石原武、西岡光秋、船越健之輔、鈴木敏幸の編集となる。

- 7月，理事長に江頭彦造就任。
- 7月31日，『現代詩選』第14集刊行。
- 10月，『詩界』25周年記念特集号刊行。

昭和51年（1976年）

- 3月，青梅市吉野梅郷内に林光則詩碑が建つ。
- 5月，第9回日本詩人クラブ賞，中野嘉一受賞（詩論集『前衛詩運動史の研究』）。
- 6月4日，市原三郎逝去。
- 7月31日，『現代詩選』第15集刊行。
- 8月，沖縄海洋博記念国立公園夕陽丘に，矢野克子詩碑が建つ。
- 9月2日～6日，ベルギーのクノックで開かれた第12回世界詩人会議に吉田正俊常任理事出席。
- 11月，芦屋国鉄保養所において関西大会が行われた。

昭和52年（1977年）

- 5月，（会長）江頭彦造，（理事長）古川清彦就任。安部宙之介氏名誉会員に推挙さる。大野良子，高村文江，武田隆子，永田東一郎，英美子，吉田正俊，新たに相談役となる。
- 7月31日，『現代詩選』第16集刊行。
- 10月，『詩界』141号より山田野理夫（委員長），丸山勝久，桑原啓善，竹久明子，鈴木繁雄にて編集。
- 11月3日，中西悟堂文化功労賞受賞。
- 11月3日，前会長安部宙之介に感謝する会を日本詩人クラブ主催にて南青山会館で開催。
- 11月18日，前田鐵之助（相談役）逝去。
- 12月，例会に，ドナルド・キーンを囲んで座談会を開催。

昭和53年（1978年）

- 5月，第11回日本詩人クラブ賞，堀口定義受賞（詩集『弾道』）。
- 5月13日，昭和53年度総会を午後2時30分から，昭和女子大学恩考館において開催。日本詩人クラブ賞に関する内規及び入会内規を改訂。
- 7月，能村潔，金子恵美子逝去。
- 7月31日，『現代詩選』第17集刊行。
- 10月，須藤耕之輔逝去。
- 11月3日，芦屋国鉄保養所において昭和53年度関西大会開催，出席者48名。
- 11月，岩倉具栄逝去。

昭和54年（1979年）

- 1月，境忠一逝去。
- 4月14日，名誉会員に，高橋新吉，相談役に喜志邦三，神保光太郎，高橋良雄推薦される。
- 5月，第12回日本詩人クラブ賞を和田徹三受賞（『和田徹三全詩集』）。授賞式5月12日，於昭和女子大。選考委員・中野嘉一（委員長），北一平（書記），石原武，大滝清雄，木村孝，桜井勝美，竹岡範男，田中冬二，長島三芳，丸山勝久，山田野理夫。
- 5月，役員改選。（会長）江頭彦造，（理事長）古川清彦就任。
- 7月31日，『現代詩選』第18集刊行。

昭和55年（1980年）

- 4月9日，田中冬二（名誉会員）逝去。
- 5月，第13回日本詩人クラブ賞を藤原定（詩集『環』），星野徹（詩集『玄猿』）受賞。授賞式6月14日，於南青山会館。日本詩人クラブ「創立30周年記念祝賀会」の席上において。選考委員・桜井勝美（委員長），北一平（書記長），井手文雄，木村孝，西條嫩子，田中冬二，中野嘉一，堀口定義，丸山勝久，山田野理夫，和

田徹三。

- 5月10日，昭和55年度総会を午後2時から，昭和女子大学恩考館において開催。
- 7月25日，村上草彦（第7回日本詩人クラブ賞受賞）逝去。
- 7月31日，『現代詩選』第19集刊行。

昭和56年（1981年）

- 1月9日，能登秀夫逝去。
- 3月15日，堀口大学（名誉会員）逝去。
- 4月，役員改選，（会長）江頭彦造，（理事長）古川清彦就任。
- 5月9日，昭和56年度総会を，昭和女子大学図書館会議室において開催。
- 5月，第14回日本詩人クラブ賞を伊藤賢三（詩集『水辺』），鈴木漠（詩集『投影風雅』）受賞。授賞式6月13日，於市谷会館。選考委員・藤原定（委員長），北一平（書記長），西岡光秋（書記），木村孝，西條嫩子，桜井勝美，高橋新吉，中野嘉一，英美子，星野徹，山田野理夫。
- 9月，村松正俊逝去。
- 10月31日，芦屋国鉄保養所において，3年ぶりに昭和56年度関西大会開催，出席者48名。
- 11月30日，『現代詩選』第20集刊行。

昭和57年（1982年）

- 5月，第15回日本詩人クラブ賞を高橋新吉（詩集『空洞』）受賞。授賞式6月12日，於大橋会館。選考委員・宮崎健三（委員長），丸山勝久（書記），安部宙之助，西條嫩子，神保光太郎，高橋渡，西岡光秋，星野徹，堀口定義，山下千江，和田徹三。
- 6月1日，日本詩人クラブ広報「詩界」第1号発行。*「詩界」の名を残してB5サイズの会報となる。
- 6月5日，西脇順三郎（名誉会員）逝去。
- 7月，宮田隆逝去。
- 7月4日，斎藤勇（名誉会員）逝去。
- 11月30日，『現代詩選』第21集刊行。
- 12月，日本詩人クラブ規約改正案の起草委員会の構成メンバー選出される。山田野理夫（委員長），丸山勝久（書記），桜井勝美，北一平，木村孝，渡辺しづ，笈楨二，石原武。
- 12月，事務局を昭和女子大学内から都内練馬区高野台の渡辺しづ方へ移転。

昭和58年（1983年）

- 3月，松田星影逝去。
- 3月15日，英美子逝去。
- 4月，藤本浩一逝去。
- 5月14日，58年度総会を大橋会館において開催。「日本詩人クラブ規約」の改正案，「役員選出細目」（主な改正点は，相談役，評議員の廃止，理事は全会員による公選で連続2選を限度）の制定が可決された。
- 5月2日，喜志邦三逝去。
- 5月5日，坂本悠逝去。
- 5月20日，雑誌形式の『詩界』第157号をもって終刊。
- 6月，第16回日本詩人クラブ賞を大滝清雄（詩集『ラインの神話』），宮崎健三（詩集『類語』）受賞。授賞式6月11日，於大橋会館。選考委員・中野嘉一（委員長），山田野理夫（書記長），藤原定，英美子，石原武，浜野卓也，山下千江，土屋二三男，木村孝，金子秀夫，渡辺しづ。
- 9月3日，藤森ゆき逝去。
- 9月6日，中敬三逝去。
- 9月，佐藤素子逝去。

- 9月10日、大橋会館において新理事会が発足、会長に西條嫩子、理事長に西岡光秋が選出された。同時に、事務所は理事長宅に移転。
- 11月3日、広報「詩界」第2号発行。
- 11月8日、安部宙之助（名誉会員）逝去。
- 11月27日、日本棋院会館において第1回詩人囲碁大会が開催された。日本詩人クラブ関係では、名古屋哲夫（準優勝）、天彦五男（3位）、その他、大井康暢、鈴木敏幸、飯岡亨、北一平、保高一夫が参加。
- 12月10日、大橋会館において、江頭彦造前会長に対する感謝会と忘年会を開催。

昭和59年（1984年）

- 1月1日、杉浦勝郎逝去。
- 1月10日、広報「詩界」第3号発行。
- 1月10日、森堯逝去。
- 3月5日、広報「詩界」第4号発行。
- 3月、第17回日本詩人クラブ賞を足立巻一（詩集『雑歌』）受賞。この回から、正賞・高田博厚作レリーフ、副賞20万円となる。贈呈式4月14日、於・有楽町「糖業会館」。選考委員・大滝清雄（委員長）、笈楨二（書記長）、天彦五男、丸地守（書記）、江頭彦造、北一平、児玉実用、武田隆子、堀口定義、町田志津子、山本格郎。
- 5月8日、広報「詩界」第5号発行。
- 6月4日、吉田正逝去。
- 6月9日、大阪市内の国鉄弥生会館において、関西大会を開催、出席者76名。
- 6月9日、吉田精一逝去、告別式に西條会長参列、弔意を表した。
- 7月9日、広報「詩界」第6号発行。
- 10月1日、広報「詩界」第7号発行。
- 10月28日、香川県仁尾町蔦島に、河西新太郎詩碑が建つ。
- 11月1日、『現代詩選』第22集刊行。
- 11月6日、第一回詩朗読会、於・西友「キネカⅢ」。
- 11月12日、東金市田中雄蛇池畔に、鈴木勝詩碑が建つ。
- 12月11日、中西悟堂（名誉会員）逝去。

昭和60年（1985年）

- 1月7日、広報「詩界」第8号発行。
- 2月6日、仲村八鬼逝去。
- 2月18日～3月1日、第1回詩書画展、於「三菱オートガーデン」二階サロン。
- 2月21日、笠井継程逝去。
- 3月10日、広報「詩界」第9号発行。
- 4月13日、第18回日本詩人クラブ賞贈呈式。中村隆詩集『詩人の商売』受賞。於「糖業会館」。選考委員・武田隆子（委員長）、天彦五男（書記長）、飯岡亨、笠原三津子（書記）、石原武、笈楨二、金子秀夫、木村孝、児玉実用、鈴木漠、寺田弘。
- 5月10日、広報「詩界」第10号発行。
- 5月10日、昭和60年度総会を商工会館において開催。「日本詩人クラブ規約」を一部改正し、事務所を「首都圏に置く」こととした。名誉会員に江頭彦造、近藤東、神保光太郎、藤原定の四氏を新たに推挙、承認された。
- 6月1日、「トミー・グレル」において新理事会発足。会長に井手文雄、理事長に笈楨二を選出。事務所が初めて東京を離れ、横須賀に移った。

- 6月11日, 小田ミツ逝去。
- 6月28日, 東金市豊成三区に, 鈴木勝詩碑が建つ。
- 8月1日, 広報「詩界」第11号発行。
- 8月12日, 山崎央逝去。
- 8月14日, 足立巻一逝去。
- 11月, 足立巻一の死去に伴い, 欠員となった関西大会担当理事の補選を行い, 山本格郎が当選, 理事会入りした。
- 11月10日, 広報「詩界」第12号発行。

昭和61年(1986年)

- 1月20日, 広報「詩界」第13号発行。
- 3月31日～4月11日, 第2回詩書画展, 於「三菱オートガーデン」二階サロン。
- 4月1日, 広報「詩界」第14号発行。
- 4月12日, 第19回日本詩人クラブ賞贈呈式。瀬谷耕作詩集『奥州浅川騒動』受賞。於「糖業会館」。選考委員・大滝清雄(委員長), 今辻和典(書記長), 山下千江(書記), 飯岡亨, 上野菊江, 北一平, 黒木清次, 小松弘愛, 高橋渡, 西岡光秋, 星野徹。
- 4月27日, 斎藤正雄逝去。
- 5月10日, 昭和61年度総会を東京都教育会館において開催。
- 5月11日, 中村泰明逝去。
- 5月24日, 萩原実逝去。
- 6月10日, 広報「詩界」第15号発行。
- 6月21日, 大阪弥生会館において関西大会開催, 出席59名。
- 8月10日, 広報「詩界」第16号発行。
- 9月1日, 『日本現代詩選』第23集刊行。*第23集より〈日本〉がついて『日本現代詩選』となる。
- 10月2日, 柳原真砂夫逝去。
- 12月10日, 広報「詩界」第17号発行。

昭和62年(1987年)

- 1月20日, 広報「詩界」第18号発行。
- 3月10日, 広報「詩界」第19号発行。
- 3月16日～27日, 第3回詩書画展, 於「三菱オートガーデン」二階サロン。
- 4月11日, 第20回日本詩人クラブ賞贈呈式。黒部節子詩集『まぼろし戸』, 鈴木満詩集『翅』受賞。於「糖業会館」。選考委員・寺田弘(委員長), 今辻和典(書記長) 山下千江(書記), 井本木綿子, 上野菊江, 大滝清雄, 薩摩忠, 高橋徹, 中崎一夫, 西岡光秋, 星野徹。
- 5月9日, 昭和62年度総会を東京都教育会館において開催。「永年会員顕彰に関する内規」の制定が可決された。
- 5月23日, 広報「詩界」第20号発行。
- 5月25日, 東京都教育会館において新理事会発足。会長に薩摩忠, 理事長に西岡光秋を選出。
- 6月5日, 高橋新吉(名誉会員)逝去。
- 6月29日, 武田喜代子逝去。
- 8月14日, 石森延男逝去。
- 8月20日, 広報「詩界」第21号発行。
- 10月1日, 広報「詩界」第22号発行。
- 10月6日, 吉田邦治逝去。

- 10月8日, 北一平 (第2回日本詩人クラブ賞受賞) 逝去。
- 10月18日, 和歌山県西牟婁郡すさみ町の童謡公園に, 「てんてん手毬」の西條八十詩碑が建つ。
- 11月11日, 岡田宗叡逝去。
- 12月1日, 広報「詩界」第23号発行。
- 12月4日, 入江昭三逝去。
- 12月15日, 宮崎健三 (第16回日本詩人クラブ賞受賞) 逝去。

昭和63年 (1988年)

- 1月21日, 高見保太郎逝去。
- 2月1日, 広報「詩界」第24号発行。
- 4月1日, 広報「詩界」第25号発行。
- 4月9日, 第21回日本詩人クラブ賞贈呈式。秋谷豊詩集『砂漠のミイラ』受賞。於「糖業会館」。選考委員・中野嘉一 (委員長), 石原武 (書記長), 戸張みち子, 森田進 (書記), 笈楨二, 木村孝, 西條嫩子, 鈴木漠, 堀口定義, 丸山勝久, 山本格郎。
- 4月23日, 太田明逝去。
- 5月14日, 昭和63年度総会を東京都教育会館において開催。第1回永年会員顕彰 (井上淑子, 大野良子, 高村文江, 武井京, 永田東一郎, 矢野克子, 大和資雄, 細川基の8名) をおこなった。
- 6月10日, 広報「詩界」第26号発行。
- 6月25日, 大阪弥生会館において関西大会開催, 出席64名。
- 7月20日~25, 第4回詩書画展, 於・銀座「竹川画廊」。
- 7月31日, 山口木の芽逝去。
- 8月13日, 吉村英夫逝去。
- 8月22日, 黒木清次逝去。
- 9月1日, 『日本現代詩選』第24集刊行。
- 10月10日, 広報「詩界」第27号発行。
- 10月21日, 吉井富美江逝去。
- 10月23日, 近藤東 (名誉会員) 逝去。
- 11月19日, 鳥根県益田市喜阿弥町三里浜婦ヶ瀬台地に, 岡崎澄衛の詩碑建つ。
- 12月1日, 広報「詩界」第28号発行。

平成元年 (1989年)

- 1月7日, 乙骨明夫逝去。
- 2月10日, 広報「詩界」第29号発行。
- 4月4日, 小串伸夫逝去。
- 4月8日, 第22回日本詩人クラブ賞贈呈式。笈楨二『怖い瞳』受賞。於「糖業会館」。選考委員・寺田弘 (委員長), 今辻和典 (書記長), 笠原三津子, 戸張みち子 (書記), 石原武, 小松弘愛, 鈴木俊, 瀬谷耕作, 高橋徹, 比留間一成, 森田進。
- 4月8日, 広報「詩界」第30号発行。
- 4月10日, 塩川秀次郎逝去。
- 4月15日, 藤村青一逝去。
- 5月1日, 神田寿美子逝去。
- 5月13日, 平成元年度総会を東京都教育会館において開催。新役員選出結果の承認 (会長) 堀口定義 (理事長) 西岡光秋。名誉会員に井手文雄, 桜井勝美, 中野嘉一の三氏を推挙, 承認された。同時に, 第2回永年会員顕彰 (新井正夫, おのちゅうこう, 児玉実用) を行った。なお, おもな承認事項としては, 規約の一部改

正, 特別会計の運用, 40周年記念事業費の募金等。

- 6月20日, 広報「詩界」第31号発行。
- 7月18日, 井上淑子(永年会員)逝去。
- 9月9日, 日本詩人クラブ40周年記念第1回運営委員会を東京池袋西口・滝沢別館において開催。
- 10月5日, 広報「詩界」第32号発行。
- 10月31日, 中村隆(第18回日本詩人クラブ賞受賞)逝去。
- 12月3日, 永山富士逝去。
- 12月20日, 広報「詩界」第33号発行。

平成2年(1990年)

- 1月12日, 大和資雄(永年会員)逝去。
- 1月29日, 森田雄三逝去。
- 2月20日, 町田志津子逝去。
- 3月10日, 広報「詩界」第34号発行。
- 4月8日, 川野辺精逝去。
- 4月10日, 広報「詩界」第35号発行。
- 4月14日, 第23回日本詩人クラブ賞贈呈式。小柳玲子『黄泉のうさぎ』受賞。於「糖業会館」。選考委員・薩摩忠(委員長), 鈴木俊(書記長), 菊池敏子, 佐久間隆史(書記), 上野菊江, 筧楨二, 金子秀夫, 小松弘愛, 星野徹, 町田志津子, 丸地守。
- 5月12日, 平成2年度総会を東京都教育会館において開催。第3回永年会員顕彰(西川満, 前田貞宗)を行った。なお, おもな承認事項は, 40周年を記念して企画された日本詩人クラブ新人賞の新設, それに伴う規約改正等であった。
- 6月16日, 40周年記念関西大会を大阪弥生会館において開催。(講演)杉山平一。
- 6月19日, 武藤重勝逝去。
- 6月20日, 広報「詩界」第36号発行。
- 6月22日, 増田良太郎逝去。
- 6月25日, おの・ちゅうこう(永年会員)逝去。
- 7月9日~14日, 40周年記念事業の一環としての第5回詩書画展を銀座「竹川画廊」にて開催。
- 7月31日, 高村文江(永年会員)逝去。
- 9月8日, 40周年みちのく詩祭を北上市の日本現代詩歌文学館において開催。(講演)三好京三。
- 9月8日, 河西新太郎逝去。
- 9月14日, 折戸彫夫(永年会員)逝去。
- 9月17日, 藤原定(名誉会員・第13回日本詩人クラブ賞受賞)逝去。
- 9月20日, 広報「詩界」第37号発行。
- 10月18日, 新井正夫(永年会員)逝去。
- 10月24日, 神保光太郎(名誉会員)逝去。
- 10月29日, 西條嫩子(元会長)逝去。
- 11月1日, 『日本現代詩選』第25集(創立40周年記念号)刊行。
- 11月20日, 広報「詩界」第38号発行。
- 11月23日, 40周年記念東京大会を東京有楽町の朝日マリオンにおいて開催。(講演)伊藤桂一。とるばとるの小林恭治の立体構成詩の朗読。古賀力・平野レミのシャンソン。
- 11月25日, 矢本貞幹逝去。

平成3年（1991年）

- 1月25日、十時延子逝去。
- 2月12日、井手文雄（名誉会員）逝去。
- 2月15日、石垣正好逝去。
- 3月5日、山下清三（永年会員）逝去。
- 3月20日、広報「詩界」第39号発行。
- 4月13日、第1回日本詩人クラブ新人賞、第24回日本詩人クラブ賞贈呈式。新人賞は中村不二夫詩集『mets』、クラブ賞は宗昇詩集『くにざかいの歌』受賞。於有楽町「糖業会館」。選考委員・新人賞一石原武（委員長）、上野菊江、禿慶子、富長覚梁、丸地守、望月苑巳、森田進。クラブ賞一笈楨二（委員長）、天彦五男、北岡善寿、佐久間隆史、瀬谷耕作、比留間一成、よしかわつねこ。書記長一佐久間隆史、書記一森田進、上野菊江。
- 4月28日、清水寿雄逝去。
- 5月11日、平成3年度総会を東京都教育会館において開催。第4回永年会員顕彰（木戸逸郎、蓬萊隆次、故山下清三）を行った。なお、おもな承認事項は、新役員選出結果、年会費（8千円）の値上げ、日本詩人クラブ賞・同新人賞選考委員会細則、同選考規準の改正であった。
- 5月28日、東京都教育会館において新理事会発足。会長に寺田弘、理事長に笈楨二を選出。
- 6月20日、広報「詩界」第40号発行。
- 6月23日、大久保清二逝去。
- 9月5日、広報「詩界」第41号発行。
- 10月12日、東京信濃町「東医健保会館」における例会で、ドイツの詩人イングリット・グレーテンコルト・ジンゲルト女史と交歓。
- 11月9日、名古屋大会を名古屋市中区新栄町YMC Aホールにおいて開催。（講演）川崎洋。（フォーラム）「現代詩のいま」岩瀬正雄、石原武、西岡光秋、中村不二夫。
- 11月19日、豊田大明逝去。
- 11月25日、日本現代詩人会と共同し、「地球環境を守ろう」との声明文を発表。
- 12月20日、広報「詩界」第42号発行。

平成4年（1992年）

- 1月19日、ニッポン放送「スーパー・ステーション」において、「地球環境・いま熱くうたうとき」と題して、寺田弘会長が日本現代詩人会々長小海永二氏と対談。
- 3月3日、広報「詩界」第43号（通巻200号）発行。*この号より通巻号数を入れるようになった。
- 3月11日、鈴木繁雄逝去。
- 3月14日、日本詩人クラブ・日本現代詩人会合同講演会。於「東医健保会館」。（講演）「東京湾の鳥たち」加藤幸子。
- 3月19日、伴勇逝去。
- 3月23日、土屋二三男逝去。
- 4月11日、第2回日本詩人クラブ新人賞、第25回日本詩人クラブ賞贈呈式。新人賞は江島その美詩集『水の残像』、クラブ賞は相良平八郎詩集『地霊遊行』、土橋治重詩集『根』に授賞。於・有楽町「糖業会館」。選考委員・新人賞一丸山勝久（委員長）、笠原三津子、鈴木敏幸、宗昇、富長覚梁、中村不二夫、森田進。クラブ賞一西岡光秋（委員長）、石原武、入江元彦、金子秀夫、小柳玲子、鈴木漠、堀口定義。書記長一入江元彦、書記一中村不二夫、森田進。
- 5月9日、平成4年度総会を神楽坂エミール（東京都教育会館）において開催。第5回永年会員顕彰（今井安

次郎, 岡崎澄衛, 小城正雄, 近藤武, 佐々木龍之, 志摩海夫, 清水康教, 鈴木寅蔵, 砂見爽, 長崎透, 長谷部俊一郎, 星野慎一, 前川知賢) を行った。

- 6月13日, 関西大会を大阪市北区南森町の東興ホテルにおいて開催。(講演) 島田陽子, 児玉実用。地域の会員報告と朗読, 俳優・朝永桐世氏の詩朗読等。
- 6月30日, 広報「詩界」第44号(通巻201号)発行。
- 7月8日~13日, 第6回詩書画展を銀座「竹川画廊」にて開催。
- 7月29日, 渡辺和一郎逝去。
- 8月24日, 中山智方逝去。
- 9月8日, 田中規久雄逝去。
- 9月11日, 永田東一郎(永年会員)逝去。
- 9月14日, 伊藤昭子逝去。
- 9月30日, 広報「詩界」第45号(通巻202号)発行。
- 11月20日, 『日本現代詩選』第26集刊行。
- 12月3日, 清水康教(永年会員)逝去。
- 12月4日, 徳井勇逝去。
- 12月20日, 広報「詩界」第46号(通巻203号)発行。
- 12月23日, 佐々木勝夫逝去。

平成5年(1993年)

- 1月24日, 志摩海夫(永年会員)逝去。
- 1月24日, 沢木隆子逝去。
- 1月28日, 砂見爽(永年会員)逝去。
- 2月10日, 前川智賢(永年会員)逝去。
- 2月25日, 角田秀夫逝去。
- 3月20日, 広報「詩界」第47号(通巻204号)発行。
- 3月24日, 村田春雄逝去。
- 4月10日, 第3回日本詩人クラブ新人賞, 第26回日本詩人クラブ賞贈呈式。新人賞は北岡淳子詩集『生姜湯』, クラブ賞は藤富保男詩集『やびにらみ』に授賞。於・有楽町「糖業会館」。選考委員・新人賞一金子秀夫(委員長), 天彦五男, 江島その美, 北畑光男, 小松弘愛, 鈴木敏幸, 中村不二夫。クラブ賞一丸地守(委員長), 入江元彦, 岡崎純, 菅野拓也, 禿慶子, 堀口定義, 山田隆昭。書記長一山田隆昭, 書記一禿慶子, 中村不二夫。
- 4月18日, 「神楽坂エミール」において新理事会発足。会長に西岡光秋, 理事長に石原武を選出。
- 5月8日, 平成5年度(第44回)総会を「神楽坂エミール」において開催。第6回永年会員顕彰(中山富久, 林光則, 山本格郎)を行った。
- 5月18日, 新旧引き継ぎの理事会, 於・「神楽坂エミール」。
- 6月30日, 広報「詩界」第48号(通巻205号)発行。
- 7月14日, 曾根精二郎逝去。
- 8月2日, 児玉実用(永年会員)逝去。
- 8月5日, 盛合聡逝去。
- 9月30日, 広報「詩界」第49号(通巻206号)発行。
- 10月9日, 信濃大会を長野県諏訪郡下諏訪町, ホテル「山王閣」にて開催。(講演) 笈楨二。
- 11月27日, 入江元彦逝去。
- 12月20日, 広報「詩界」第50号(通巻207号)発行。

平成6年（1994年）

- 2月9日、田中恭一郎逝去。
- 3月12日（土）、日本詩人クラブ・日本現代詩人会『地球環境を守ろう』合同講演会。於・「神楽坂エミール」。（講演）「森から見た人間」八木雄二。ドイツ詩朗読・相沢那織子。
- 3月20日、広報「詩界」第51号（通巻208号）発行。
- 4月4日、小松のりお逝去。
- 4月9日、第4回日本詩人クラブ新人賞、第27回日本詩人クラブ賞贈呈式。新人賞は柴田三吉詩集『さかさの木』、クラブ賞は田中清光詩集『風の家』に授賞。於・「神楽坂エミール」。選考委員・新人賞—森田進（委員長）、北岡淳子、鈴切幸子、武子和幸、成田敦、西尾君子、望月苑巳。クラブ賞—高橋渡（委員長）、笠井剛、笠原三津子、北岡善寿、原子修、星野徹、山田隆昭。書記長—北岡善寿。書記—鈴切幸子、西尾君子。
- 4月28日、深町敏雄逝去。
- 5月14日、平成6年度（第45回）総会を「神楽坂エミール」において開催。
- 6月11日、関西大会を大阪市南森町の東興ホテルにおいて開催。（講演）伊良子正「詩人・伊良子清白」。（討論会）「現代詩はどう読まれているか」浅野徹、井上嘉明、津坂治男、富長覚梁、横田英子。
- 6月30日、矢野克子（永年会員）逝去。
- 6月30日、広報「詩界」第52号（通巻209号）発行。
- 8月2日～7日、第7回詩書画展を銀座「竹川画廊」にて開催。
- 9月15日、雑誌「詩界」第210号発行。＊この号より会報形式（B5・パンフレット）と雑誌形式（A4・冊子）が交互に発行されるようになる。通巻の数字は会報にはあるが雑誌は号数のみ。
- 11月10日、日本現代詩人会との合同編集によるパンフレット詩集「地球環境を守ろう」第3集発行。
- 11月20日、『日本現代詩選』第27集発行。
- 12月15日、広報「詩界」通巻第211号発行。

平成7年（1995年）

- 3月25日、雑誌「詩界」第212号発行。
- 4月8日、第5回日本詩人クラブ新人賞、第28回日本詩人クラブ賞贈呈式。新人賞は清水恵子詩集『あびてあびて』、クラブ賞は菊地貞三詩集『いつものように』、原子修詩集『未来からの銃声』に授賞。於・「神楽坂エミール」。選考委員・新人賞—丸山勝久（委員長）、小川英晴、北畑光男、小山和郎、中原道夫、野仲美弥子、森菊蔵。クラブ賞—比留間一成（委員長）、上野菊江、志賀英夫、鈴木敏幸、鈴木満、中村不二夫、前原正治。書記長—鈴木敏幸。書記—小川英晴、中村不二夫。
- 4月17日、井上昇平逝去。
- 5月5日、蓬萊隆次（永年会員）逝去。
- 5月13日、平成7年度（第46回）総会を「神楽坂エミール」において開催。新役員選出結果の承認（会長・石原武、理事長・中村不二夫）、ならびに、名誉会員に寺田弘、堀口定義の二氏を推挙、承認された。同時に第7回永年会員顕彰（石井健次郎、竹岡範男）を行った。なお、おもな承認事項としては、規約の一部改正（会則第6条、新入会員承認に関する内規）、ならびに「理事会が適当と認められる詩人団体に講師を派遣する」件などであった。
- 7月8日、北海道大会「北の夏の詩人たち」を北海道勇払郡穂別町で開催。（7日、前夜祭）。後援（穂別町、穂別町教育委員会、穂別町文化協会、北海道詩人協会）。協力（ほべつ町民劇場、文芸ほべつの会）。（講演）「おのれの地方を生きぬくものにとって詩とは？」畑野信太郎、斉藤征義。朗読、スピーチ、組詩、合唱など。
- 7月24日、桜井勝美（名誉会員）逝去。

- 7月30日, 広報「詩界」通巻第213号発行。
- 8月30日, 菅沼五十一逝去。
- 9月25日, 雑誌「詩界」第214号発行。
- 10月7日, 江頭彦造(名誉会員)逝去。
- 10月15日, 「北海道大会特別号」発行。
- 11月9日, 川村洋一逝去。
- 11月24日, 小城正雄(永年会員)逝去。
- 12月10日, 広報「詩界」通巻第215号発行。

平成8年(1996年)

- 3月9日, 土橋義信逝去。
- 3月25日, 雑誌「詩界」第216号発行。
- 4月13日, 第6回日本詩人クラブ新人賞, 第29回日本詩人クラブ賞贈呈式。新人賞は草野信子詩集『戦場の林檎』, クラブ賞は小松弘愛詩集『どこか偽者めいた』に授賞。於・「神楽坂エミール」。選考委員・新人賞—鈴木敏幸(委員長), 笈楨二, 北岡淳子, 柴田三吉, 鈴木俊, 富長覚梁, 山口ひとよ。クラブ賞—西岡光秋(委員長), 笠原三津子, 金子秀夫, 禿慶子, 相馬大, 高橋渡, 森田進。書記長—鈴木俊。書記—禿慶子, 北岡淳子。
- 5月11日, 平成8年度(第47回)総会を「神楽坂エミール」において開催。規約の一部改正案(日本詩人クラブ賞・日本詩人クラブ新人賞選考規準会則第4条第1項の変更について)が討議された。その結果, 現行の「最も適当と認める詩書3冊を連記」が「適当と認める詩書2冊を記し」に変更することが承認された。なお永年会員として, 家森長次郎, 尾中米蔵, 関根九雀, 矢崎志づ枝, 山名キミ子, 八篠れい子, 矢島信明の七氏が顕彰された。
- 5月20日, 田内廣逝去。
- 6月8日, 関西大会を大阪市北区南森町の東興ホテルにて開催。(講演)杉山平一。
- 7月10日, 広報「詩界」第217号発行。*この号より通巻の文字をとる。また, 会報と雑誌が内容的に変らないという感想が寄せられたため, この号以降は雑誌型を廃止。B5サイズの会報のみとなる。
- 8月3日~7日, 第8回詩書画展を銀座・ステージ21ギャラリーで開催。
- 8月17日, 森田四郎逝去。
- 9月10日, 広報「詩界」第218号発行。
- 10月21日, 近藤武(永年会員)逝去。
- 11月30日, 広報「詩界」第219号発行。
- 11月30日, 『日本現代詩選』第28集(創立45周年記念)刊行。
- 12月13日, 長谷部俊一郎(永年会員)逝去。
- 12月27日, 恩田慶明逝去。

平成9年(1997年)

- 1月6日, 桑門つた子逝去。
- 1月8日, 大野良子(永年会員)逝去。
- 1月10日, 安藤雅郎逝去。
- 1月21日, 森菊蔵逝去。
- 1月31日, 広報「詩界」第220号発行。
- 2月22日, 北上川行雄逝去。
- 3月27日, 渋谷江美逝去。
- 3月31日, 広報「詩界」第221号発行。

- 4月12日, 第7回日本詩人クラブ新人賞, 第30回日本詩人クラブ賞贈呈式。新人賞は鈴木有美子詩集『細胞律』, クラブ賞は岡崎純詩集『寂光』に授賞。於・「神楽坂エミール」。選考委員・新人賞一天彦五男(委員長), 網谷厚子, 草野信子, 小山和郎, 鈴切幸子, 武田肇, 森常治。クラブ賞一菊地貞三(委員長), 小川アンナ, 笈楨二, 菊池敏子, 北畑光男, 小松弘愛, 丸山勝久。書記長一丸山勝久。書記一網谷厚子, 北畑光男。
- 4月14日, 高野邦夫逝去。
- 4月26日, 佐藤博信逝去。
- 5月10日, 平成9年度総会(第48回)を神楽坂エミールにおいて開催。新役員選出結果の承認。(会長・笈楨二, 理事長・鈴木敏幸)。永年会員顕彰(戸張みち子, 古川清彦, 和田健)を行った。
- 5月26日, 丸山創逝去。
- 6月14日, 大垣大会を岐阜県大垣市本町のスイトピアセンター音楽堂にて開催。(共催)大垣市。(後援)大垣市教育委員会, 中日詩人会。(協力)大垣市読書協会。(講演)「松尾芭蕉と大垣」清水春一。
- 6月20日, 広報「詩界」第222号発行。
- 7月5日, 山森三平逝去。
- 7月7日, 『現代詩の50年』刊行。
- 9月4日, 今井安次郎(永年会員)逝去。
- 9月5日, 吉田嘉七逝去。
- 9月13日, 新井均一逝去。
- 9月20日, 広報「詩界」第223号発行。
- 10月18日, 中山富久(永年会員)逝去。
- 11月30日, 広報「詩界」第224号発行。
- 12月8日, 福地邦樹逝去。

平成10年(1998年)

- 1月19日, 山本格郎(永年会員)逝去。
- 1月23日, 町田久逝去。
- 2月20日, 広報「詩界」第225号発行。
- 2月25日, 矢島信明(永年会員)逝去。
- 3月31日, 広報「詩界」第226号発行。
- 4月11日, 第8回日本詩人クラブ新人賞, 第31回日本詩人クラブ賞贈呈式。新人賞は橋浦洋志詩集『水俣』, クラブ賞は河邨文一郎詩集『シベリア』授賞。於・「神楽坂エミール」。選考委員・新人賞一森常治(委員長), 天彦五男, 奥村泉, 北岡淳子, 中村不二夫, 村山精二, 山田隆昭。クラブ賞一石原武(委員長), 今駒泰成, 岡崎純, 北畑光男, 五喜田正巳, 塩原経央, 西岡光秋。書記長一中村不二夫。書記一五喜田正巳, 山田隆昭。
- 4月21日, 秋葉啓逝去。
- 5月7日, 田中華照逝去。
- 5月9日, 平成10年度総会(第49回)を神楽坂エミールにおいて開催。「新人賞に関する内規」の一部改正承認される。創立50周年記念事業承認される。
- 5月27日, 荒木義雄逝去。
- 6月13日, 第11回関西大会を大阪・南森町の東興ホテルにて開催。(講演)寺田弘。
- 6月18日, 上田幸法逝去。
- 6月30日, 広報「詩界」第227号発行。
- 7月23日, 中野嘉一(名誉会員・第9回日本詩人クラブ賞受賞)逝去。
- 7月24日, 飯岡亨逝去。

- 8月5日～9日, 第9回詩書画展を, 銀座・ステージ21ギャラリーで開催。
- 8月7日, 早川琢逝去。
- 8月18日, 黒木エミ逝去。
- 9月16日, 大滝清雄(第16回日本詩人クラブ賞受賞)逝去。
- 9月30日, 広報「詩界」第228号発行。
- 11月30日, 『日本現代詩選』第29集刊行。
- 11月30日, 広報「詩界」第229号発行。
- 12月1日, 西田春作逝去。
- 12月17日, 星野慎一(永年会員)逝去。
- 12月20日, 木村孝(第1回日本詩人クラブ賞受賞)逝去。
- 12月24日, 太田秀男逝去。

平成11年(1999年)

- 1月12日, あんどうじろ逝去。
- 2月20日, 広報「詩界」第230号発行。
- 2月24日, 西川満(永年会員)逝去。
- 3月30日, 広報「詩界」第231号発行。
- 4月10日, 第9回日本詩人クラブ新人賞, 第32回日本詩人クラブ賞贈呈式。新人賞は樋口伸子詩集『あかるい天気予報』, クラブ賞は木津川昭夫詩集『竹の異界』に授賞。於・「神楽坂エミール」。選考委員・新人賞一 菊地貞三(委員長), 禿慶子, 鈴木俊, 中原道夫, 中村不二夫, 成田敦, 山田隆昭。クラブ賞—今辻和典(委員長), 相沢史郎, 河邨文一郎, 鈴切幸子, 西岡光秋, 深津朝雄, 丸山勝久。書記長—中原道夫。書記—鈴切幸子, 山田隆昭。
- 5月8日, 平成11年度総会(第50回)を神楽坂エミールにおいて開催。新役員選出結果の承認(会長・高橋渡, 理事長・鈴木敏幸)。永年会員顕彰(鈴木初江, 高崎創, 中条三郎, 葉樹えう子)。規約及び内規に関する一部改正案承認される。
- 5月20日, 阿久根純・高橋純二郎逝去。
- 6月12日, 丸亀大会を丸亀市総合会館において開催。(講演)佐々木正夫。
- 6月30日, 広報「詩界」第232号発行。
- 7月1日, 冬園節逝去。
- 8月31日, 広報「詩界」第233号発行。
- 10月27日, 家森長次郎(永年会員)逝去。
- 11月14日, 高橋渡(会長・第8回日本詩人クラブ賞受賞)逝去。
- 11月30日, 広報「詩界」第234号発行。
- 12月25日, 八篠れい子(永年会員)逝去。

平成12年(2000年)

- 1月1日, 椿英児逝去。
- 2月14日, 松下一郎逝去。
- 2月20日, 広報「詩界」第235号発行。
- 3月24日, 薩摩忠(元会長)逝去。
- 3月27日, 鈴木寅蔵(永年会員)逝去。
- 3月31日, 広報「詩界」第236号発行。
- 4月8日, 第10回日本詩人クラブ新人賞, 第33回日本詩人クラブ賞贈呈式。新人賞は白井知子詩集『あやうい微笑』, クラブ賞は田口義弘詩集『遠日点』に授賞。於・神楽坂エミール。選考委員・新人賞一 寛楨二(委員

長), 天彦五男, 川上明日夫, 北岡淳子, 五喜田正巳, 柴田三吉, 浜野卓也。クラブ賞—石原武(委員長), 菊池敏子, 北岡善寿, 木津川昭夫, 島田陽子, 比留間一成, 水橋齊。書記長—北岡淳子。書記—柴田三吉, 水橋齊。

- 5月13日, 平成12年度総会(第51回)を神楽坂エミールにおいて開催。高橋渡会長死去により空席になっていた会長に鈴木敏幸, 理事長に中村不二夫を承認。それにとまう欠員理事の補充は, 次点だった新延拳の昇格が承認された。永年会員顕彰(上野菊江, 大槻久子, 館林早苗)。詩界賞新設, 規約の一部改正の承認。
- 6月10日, 第12回関西大会(創立50周年記念)を大阪市北区南森町の東興ホテルで開催。(講演)高橋良雄。
- 6月28日, 武井京(永年会員)逝去。
- 6月30日, 広報「詩界」第237号発行。*この号が〈詩界〉名の会報として最終号。
- 7月3日, 鈴木牧男逝去。
- 7月5日, 角石保逝去。
- 7月27日, 大槻久子(永年会員)逝去。
- 8月3日~6日, 第10回詩書画展を銀座・ステージ21ギャラリーで開催。
- 8月25日, 鈴木勝逝去。
- 8月30日, 日本詩人クラブ編『日本の詩100年』を土曜美術社出版販売より刊行。
- 9月10日, 成田敦逝去。
- 9月10日, 「詩界通信」No1号発行。*この号より会報は「詩界通信」と名称変更。〈詩界〉名は雑誌「詩界」として号数を受けついで発行することになる。`歴史的資料として価値ある内容、を編集方針の冊子とする。
- 9月19日, 篠崎正俊逝去。
- 10月5日, 宮内孝夫逝去。
- 10月14日, 日本詩人クラブ創立50周年記念・日蘭文化交流400年記念「東京詩祭2000」を東京池袋のサンシャインシティプリンスホテルで開催。(主催)日本詩人クラブ。(共催)オランダ文学制作翻訳基金。(後援)オランダ大使館, 日本文藝家協会, 日本ペンクラブ。(講演)中村不二夫, ヘーリット・コムレイ。(展望)森常治。(Poetry Recital)松村彦次郎, 橘由貴, 小川英晴他。
- 10月14日, 『日本現代詩選』第30集(創立50周年記念号)刊行。
- 10月14日, 清水あみ子逝去。
- 10月25日, 渡辺剛逝去。
- 11月19日, 世川心子逝去。
- 12月3日, 藤渕欣也逝去。
- 12月20日, 「詩界通信」No2発行。
- 12月29日, 西川民五郎逝去。

平成13年(2001年)

- 1月10日, 川崎覚太郎逝去。
- 2月20日, 雑誌「詩界」通巻第238号発行。*この号が雑誌「詩界」復刊第1号。号数に`通巻、を入れるようになる。
- 2月28日, 「詩界通信」No3発行。
- 3月7日, 浅野徹逝去。
- 3月31日, 「詩界通信」No4発行。
- 4月14日, 第34回日本詩人クラブ賞, 第11回日本詩人クラブ新人賞, 第1回日本詩人クラブ詩界賞贈呈式。クラブ賞は松尾静明詩集『都会の畑』, 新人賞は佐々木朝子詩集『砂の声』, 詩界賞は秋吉久紀夫編訳『現代シルクロード詩集』に授賞。於・神楽坂エミール。選考委員・クラブ賞—森常治(委員長), 小柳玲子, 志田信

男，中原道夫，原子修，保坂登志子，山田直。新人賞—佐久間隆史（委員長），小川英晴，橋浦洋志，原田道子，樋口伸子，三田洋，村山精二。詩界賞—石原武（委員長），高橋良雄，田口義弘，中村不二夫，廣島一雄。書記長—中原道夫。書記—中村不二夫，村山精二，保坂登志子。

- 4月28日，関根九雀（永年会員）逝去。
- 5月12日，平成13年度総会（第52回）を神楽坂エミールにおいて開催。新役員選出結果の承認。（会長・天彦五男，理事長・中村不二夫）。永年会員顕彰（竹田登美子）。「海外客員会員」新設等による規約の一部改正の承認。海外客員会員承認（ペドロ・シモセ，ヘーリット・コムレイ）。
- 5月15日，前田貞宗（永年会員）逝去。
- 5月27日，中込純次逝去。
- 6月9日，千葉大会を千葉県館山市の夕日海岸ホテルで開催。（講演）相馬大。（講話）岡田晃司。
- 7月31日，「詩界通信」No5 発行。
- 8月5日，寺島栄一逝去。
- 9月1日，研究会はじまる。（第1回）
- 9月17日，植嶋亮介逝去。
- 9月30日，「詩界通信」No6 発行。
- 9月30日，雑誌「詩界」通巻第239号発行。
- 11月4日，北海道立文学館にて「日本詩人クラブ札幌イベント」開催。
- 11月30日，「詩界通信」No7 発行。

平成14年（2002年）

- 1月31日，「詩界通信」No8 発行。
- 2月8日，石渡敦美逝去。
- 3月27日，内田早苗逝去。
- 3月31日，「詩界通信」No9 発行。
- 3月31日，雑誌「詩界」通巻第240号発行。
- 4月9日，福島康逝去。
- 4月13日，第35回日本詩人クラブ賞，第12回日本詩人クラブ新人賞，第2回日本詩人クラブ詩界賞贈呈式。クラブ賞は富長覚梁詩集『そして秘儀そして』，新人賞は網谷厚子詩集『万里』，詩界賞は松田幸雄詩集『鳥と花と獣』に授賞。於・神楽坂エミール。選考委員・クラブ賞—鈴木敏幸（委員長），笈横二，笠原三津子，金子秀夫，鈴木満，なんばみちこ，溝口章。新人賞—川島完（委員長），大瀬孝和，北岡淳子，白井知子，前原正治，丸山勝久，森田進。詩界賞—廣島一雄（委員長），秋吉久紀夫，石原武，川中子義勝，山田直。書記長—北岡淳子。書記—金子秀夫，川中子義勝，白井知子。
- 5月11日，平成14年度総会（第53回）を神楽坂エミールにおいて開催。規約の一部改正の承認。永年会員顕彰（小川アンナ，奥田晴義，金澤宏，桑原啓善，相馬梅子，大和ミエ子，若林のぼる）。
- 5月16日，古川清彦（元理事長，永年会員）逝去。
- 6月1日，田口義弘（第33回日本詩人クラブ賞受賞）逝去。
- 6月8日，第13回関西大会を大阪・南森町の東興ホテルにおいて開催。（講演）石原武。
- 6月22日，鈴木初江（永年会員）逝去。
- 6月30日，「詩界通信」No10発行。
- 8月2日～6日，第11回詩書画展を銀座・ステージ21ギャラリーで開催。
- 8月28日，葉樹えう子（永年会員）逝去。
- 9月11日，田熊健逝去。
- 9月26日，西川修逝去。

- 9月30日, 「詩界通信」No11発行。
- 9月30日, 雑誌「詩界」通巻第241号発行。
- 11月30日, 「詩界通信」No12発行。
- 11月30日, 『日本現代詩選』第31集刊行。
- 11月30日, 北海道立文学館にて「日本詩人クラブ札幌イベント」開催。
- 12月4日, 林光則(永年会員)逝去。

平成15年(2003年)

- 1月6日, 金澤宏(永年会員)逝去。
- 1月31日, 「詩界通信」No13発行。
- 3月7日, 細川基(永年会員)逝去。
- 3月9日, 大籠康敬逝去。
- 3月31日, 「詩界通信」No14発行。
- 3月31日, 雑誌「詩界」通巻第242号発行。
- 4月1日, 峯由紀逝去。
- 4月12日, 第36回日本詩人クラブ賞贈呈式。於・神楽坂エミール。クラブ賞は井奥行彦詩集『しずかな日々を』に授賞。第13回日本詩人クラブ新人賞および第3回日本詩人クラブ詩界賞は該当詩書なしと決まる。選考委員・クラブ賞一菊地貞三(委員長), 伊勢田史郎, 笠井剛, 倉持三郎, 佐久間隆史, 鈴切幸子, 宗昇。新人賞一武子和幸(委員長), 秋元炯, 笥横二, 佐々木朝子, 柴田三吉, 原田道子, 柳生じゅん子。詩界賞一山田直(委員長), 石原武, 川中子義勝, 橋浦洋志, 森田進。書記長一原田道子。書記一川中子義勝, 佐久間隆史, 柴田三吉。
- 5月5日, 島田勇逝去。
- 5月6日, 渡邊基弘逝去。
- 5月10日, 平成15年度総会(第54回)を神楽坂エミールにおいて開催。新役員選出結果の承認。(会長・丸山勝久, 理事長・原田道子)。永年会員顕彰(前田静秋)。海外客員会員承認(高銀, 成賛慶)。
- 6月14日, 仙台大会を仙台市シルバーセンター交流ホールで開催。(講演)入間田宣夫, 橋浦兵一(高木肇)。
- 6月17日, 若林のぼる(永年会員)逝去。
- 6月28日, すえかわしげる逝去。
- 6月28日, 麦田穰逝去。
- 6月30日, 「詩界通信」No15発行。
- 7月3日, 田井中弘逝去。
- 8月10日, 浜野拓也逝去。
- 8月26日, 中原忍冬逝去。
- 8月31日, 「詩界通信」No16発行。
- 9月23日, 竹岡範男(永年会員)逝去。
- 10月18日, 丸駒温泉にて「日本詩人クラブ札幌イベント」開催。
- 10月24日, 石井健次郎(永年会員)逝去。
- 11月30日, 「詩界通信」No17発行。
- 11月30日, 雑誌「詩界」通巻第243号発行。

平成16年(2004年)

- 1月17日, 伊藤貞夫逝去。
- 2月20日, 「詩界通信」No18発行。

- 2月25日, 成田武夫逝去。
- 2月29日, 高橋敏逝去。
- 3月30日, 河邨文一郎(第31回日本詩人クラブ賞受賞)逝去。
- 3月31日, 「詩界通信」No19発行。
- 3月31日, 雑誌「詩界」通巻第244号発行。
- 4月6日, 中条三郎(永年会員)逝去。
- 4月10日, 第37回日本詩人クラブ賞, 第14回日本詩人クラブ新人賞, 第4回日本詩人クラブ詩界賞贈呈式。於・神楽坂エミール。クラブ賞は吉野令子詩集『歲月, 失われた蕾の真実』, 新人賞は吉田義昭詩集『ガリレオが笑った』, 詩界賞は水谷清訳詩集『クロード・ロア詩集 忍び登の詩篇』に授賞。選考委員・クラブ賞—西岡光秋(委員長), 石原武, 北岡淳子, 北岡善寿, 鈴木漠, 鈴木敏幸, 中村不二夫。新人賞—禿慶子(委員長), 大塚欽一, 清岳こう, 鈴木有美子, 高田太郎, 中原道夫, 三田洋。詩界賞—川中子義勝(委員長), 秋吉久紀夫, 橋浦洋志, 森常治, 山田直。書記長—鈴木敏幸。書記—中村不二夫, 三田洋, 橋浦洋志。
- 5月8日, 平成16年度総会(第55回)を神楽坂エミールにおいて開催。規約の一部改正を承認。永年会員顕彰(小林正子, 島田ばく, 水野谷世界, 若生眞佐江)。
- 6月1日, 立川千年逝去。
- 6月7日, 藤川日出尚逝去。
- 6月12日, 第14回関西大会を大阪・南森町の東興ホテルにおいて開催。シンポジウム「女性詩の在り方をさぐる」(パネリスト)新井啓子, 岡崎葉, 河上鴨, 清水恵子, 司茜。(コーディネーター)石原武。
- 6月30日, 「詩界通信」No20発行。
- 7月17日, 伊藤康圓逝去。
- 8月5日~9日, 第12回詩書画展を銀座・ステージ21ギャラリーで開催。
- 9月3日, 島田ばく(永年会員)逝去。
- 9月4日, 高橋未明逝去。
- 9月30日, 「詩界通信」No21発行。
- 9月30日, 雑誌「詩界」通巻第245号発行。
- 11月17日, 大滝修一逝去。
- 11月30日, 「詩界通信」No22発行。

平成17年(2005年)

- 1月7日, 野沢郁郎逝去。
- 1月20日, 戸張みち子(永年会員)逝去。
- 2月20日, 『日本現代詩選』第32集発行。
- 2月20日, 「詩界通信」No23発行。
- 2月22日, 勝見方雄逝去。
- 2月28日, B氏基金により「詩界」覆刻版刊行。
- 3月3日, 工藤幸一逝去。
- 3月13日, 村井和夫(日本詩人クラブ詩界賞ブロンズ像「整合—T」制作者)逝去。
- 3月31日, 雑誌「詩界」通巻第246号発行。
- 3月31日, 「詩界通信」No24発行。
- 4月7日, 北原政吉逝去。
- 4月9日, 第38回日本詩人クラブ賞, 第15回日本詩人クラブ新人賞, 第5回日本詩人クラブ詩界賞贈呈式。於・神楽坂エミール。クラブ賞は尾花仙朔詩集『有明まで』, 新人賞は星善博詩集『水葬の森』, 詩界賞は神品芳夫編著『自然詩の系譜』に授賞。選考委員・クラブ賞—比留間一成(委員長), 天彦五男, 狩野敏也, 五

喜田正巳，福田美鈴，前原正治，松尾静明。新人賞—細野豊（委員長），諫川正臣，北岡淳子，鈴切幸子，溝口章，南邦和，吉田義昭。詩界賞—倉持三郎（委員長），秋吉久紀夫，川中子義勝，北岡善寿，森田進。書記長—北岡淳子。書記—五喜田正巳，吉田義昭，川中子義勝。

- 5月11日，堀口定義（名誉会員・第11回日本詩人クラブ賞受賞）逝去。
- 5月13日，奥田博之逝去。
- 5月14日，平成17年度総会（第56回）を神楽坂エミールにおいて開催。新役員選出結果の承認。（会長・中村不二夫，理事長・北岡淳子）。永年会員顕彰（黄河陽子，九谷元子，朝比奈宣英，杉谷徳藏，高橋徹，比留間一成，増田朱躬，山田寂雀）。
- 6月11日，宮崎大会を宮崎観光ホテルで開催。（講演）藤原宏志，菅邦男。
- 6月30日，「詩界通信」No25発行。
- 7月9日，理事会に天彦理事が法人化を提案。
- 9月10日，理事会において，日本詩人クラブ法人化検討委員会設置を決定。委員長・中村不二夫。委員は，天彦五男，石原武，鈴木敏幸，西岡光秋。事務局・北岡淳子。
- 9月30日，雑誌「詩界」通巻第247号発行。
- 9月30日，「詩界通信」No26発行。
- 10月1日，浅野明信逝去。
- 10月9日，佐藤道子逝去。
- 10月21日，第1回日本詩人クラブ法人化検討委員会を開催。於・神楽坂エミール。
- 10月31日，九谷元子（永年会員）逝去。
- 11月9日，星野徹瑞宝中綬賞を受章。
- 11月21日，法人化検討委員会を開催。中間法人法に基づく法人化推進を決議し，12月理事会へ報告することとなる。
- 11月24日，八木道夫逝去。
- 11月30日，「詩界通信」No27発行。
- 12月10日，法人化検討委員会の決議報告を受け，理事会が法人化推進を決議。

平成18年（2006年）

- 1月10日，尾崎驍一逝去。
- 1月13日，たにみちお逝去。
- 1月14日，理事会にて「日本詩人クラブ法人化委員会」設置。委員長・中村不二夫会長。委員・天彦五男，石原武，鈴木敏幸，西岡光秋，秋元炯，笈楨二，川中子義勝，田中眞由美，中原道夫，原田道子，丸山勝久，村山精二。事務局・北岡淳子。
- 2月11日，「日本詩人クラブ法人化を考えるフォーラム」開催。
- 2月20日，「詩界通信」No28発行。
- 3月9日，第1回日本詩人クラブ法人化委員会開催。
- 3月31日，雑誌「詩界」通巻第248号発行。
- 3月31日，「詩界通信」No29発行。
- 4月3日，第2回日本詩人クラブ法人化委員会開催。
- 4月8日，第39回日本詩人クラブ賞，第16回日本詩人クラブ新人賞，第6回日本詩人クラブ詩界賞贈呈式。於・神楽坂エミール。クラブ賞は川島完詩集『ゴドー氏の村』，新人賞は竹内美智代詩集『切通し』，詩界賞は佐藤伸宏著『日本近代象徴詩の研究』に授賞。選考委員・クラブ賞—菊地貞三（委員長），伊勢山峻，禿慶子，杉谷昭人，なんば・みちこ，西岡光秋，丸山勝久。新人賞—佐久間隆史（委員長），倉石長彦，清水恵子，武子和幸，野仲美弥子，三田洋，村山精二。詩界賞—川中子義勝（委員長），秋吉久紀夫，石原武，清水

茂，橋浦洋志。書記長—三田洋。書記—禿慶子，村山精二，橋浦洋志。

- 4月19日，餘戸義雄逝去。
- 5月3日，團上裕子逝去。
- 5月5日，理事会に法人担当及び日本詩人クラブ三賞担当新設。
- 5月13日，平成18年度総会（第57回）を神楽坂エミールにおいて開催。日本詩人クラブ法人化が承認され，それに伴う規約を一部改正。名誉会員の承認と顕彰（高橋良雄，石川重俊，上野菊江）。永年会員顕彰（佐藤敏，谷口謙，星野徹，上田周二，北岡善寿，進一男，笠原三津子，河合智恵子，木村徳兵衛，鈴木満）。
- 5月27日，北海道立文学館にて「日本詩人クラブ札幌イベント」開催。（講演）石原武，清水茂。
- 6月10日，第15回関西大会を大阪・南森町のトーコーシティホテル梅田において開催。（講演）安水稔和，薬師川虹一。（対談）水谷なりこ，横田英子。
- 6月13日，篠塚興一郎逝去。
- 6月18日，若生眞佐江（永年会員）逝去。
- 6月30日，「詩界通信」No30発行。
- 7月3日，法務局渋谷出張所に，有限責任中間法人日本詩人クラブ設立登記を申請，受理される。これをもって法人設立。
- 7月15日，今辻和典逝去。
- 7月19日，有限責任中間法人日本詩人クラブ登記が完了。
- 7月31日～8月6日，第13回詩書画展を銀座・地球堂ギャラリーで開催。
- 9月30日，雑誌「詩界」通巻第249号発行。
- 9月30日，「詩界通信」No31発行。
- 10月24日，日本詩人クラブ三賞選考委員会（第1回）開催。
- 10月31日，城晶子逝去。
- 11月21日，永井力逝去。
- 11月30日，「詩界通信」No32発行。
- 12月9日，法人化記念・2006年国際交流の集いを池袋サンシャイン60ビル59階藤・菖蒲・桔梗の間にて開催。講演「中国現代詩の状況」。講師・沈奇氏，楊克氏。

平成19年（2007年）

- 2月19日，ひらたきよし逝去。
- 2月20日，『日本現代詩選』第33集発行。
- 2月20日，「詩界通信」No33発行。
- 3月31日，雑誌「詩界」通巻第250号発行。
- 3月31日，「詩界通信」No34発行。
- 4月14日，第40回日本詩人クラブ賞，第17回日本詩人クラブ新人賞，第7回日本詩人クラブ詩界賞贈呈式。於・アルカディア市ヶ谷。クラブ賞は麻生直子詩集『足形のレリーフ』，新人賞は岡野絵里子詩集『発語』，詩界賞は石原武著『遠いうた 拾遺集』に授賞。選考委員・クラブ賞—笈樞二（委員長），井奥行彦，富長覚梁，中原道夫，西岡光秋，裕杏子，吉野令子。新人賞—原子修（委員長），秋元炯，網谷厚子，高島清子，新延拳，森田進，吉田義昭。詩界賞—清水茂（委員長），秋吉久紀夫，川中子義勝，菅邦男，武子和幸。書記長—川中子義勝。書記—裕杏子，吉田義昭，武子和幸。
- 5月10日，長崎透（永年会員）逝去。
- 5月12日，平成19年度総会（第58回）を東京大学駒場キャンパス18号館ホールにおいて開催。新役員選出結果の承認。（会長・佐久間隆史，理事長・北岡淳子）。事務所設置を承認。永年会員顕彰（大貫喜也，五喜田正巳，霧林道義，相馬大，深山鏡子，森未知子）。

- 5月16日, 事務所開設。東京都新宿区天神町71字野ビル4階
- 5月16日, 大野理維子逝去。
- 6月9日, 長野大会を長野市ホテル国際21で開催。(小講演)柳沢さつき, 宮崎亨, 山本勝夫。(講演)川俣従道。
- 6月30日, 「詩界通信」No35発行。
- 9月4日, 「日本詩人クラブ創立60周年記念事業準備委員会」設置。委員長—中村不二夫, 事務局—北岡淳子, 会計—村山精二。
- 9月30日, 「詩界通信」No36発行。
- 9月30日, 雑誌「詩界」通巻第251号発行。
- 10月13日, 高橋芳子逝去。
- 10月13日東京大学駒場Iキャンパスにて第1回「詩と平和の集い」開催。パネリスト・石川逸子, 長津功三良, なんばみちこ, コーディネーター・川中子義勝。
- 10月15日, 吉久隆弘逝去。
- 10月18日, 「詩の学校」開設。校長—山田直。
- 11月10日, 例会講演にドラゴ・シュタンブク氏(在日クロアチア大使・詩人)を招聘。
- 11月30日, 「詩界通信」No37発行。
- 12月8日, 国際交流の集い及び忘年会開催。ヘルマン・ゴチェフスキ氏(東大大学院准教授)「朗読と歌唱—言葉のリズムとメロディーについて」講演。
- 12月14日, 竹ノ谷正逝去。
- 12月20日, 高橋徹逝去(永年会員)。

平成20年(2008年)

- 1月12日, 新年会を東京大学駒場キャンパス・ファカルティハウスにて開催。
- 2月9日, 広島県詩人協会との共催により, 第2回「詩と平和の集い」を広島平和記念資料館東館地下1階メモリアルホールにて開催。パネリスト・安藤欣賢, 小野恵美子, 西岡光秋, コーディネーター・中村不二夫。懇親会は広島国際ホテルにて。
- 2月20日, 「詩界通信」No38発行。
- 3月11日, 蘭繁之逝去。
- 3月23日, 日本詩人クラブ事務所を一日公開。
- 3月31日, 雑誌「詩界」通巻252号発行。
- 3月31日, 「詩界通信」No39発行。
- 4月10日, 寛楨二(第22回日本詩人クラブ賞受賞)逝去。
- 4月12日, アイビーホール青学会館にて, 日本詩人クラブ三賞贈呈式開催。第41回日本詩人クラブ賞は大掛史子詩集『桜鬼』, 第18回日本詩人クラブ新人賞は肌勢とみ子詩集『そぞろ心』, 第8回日本詩人クラブ詩界賞は鼓直・細野豊編訳『ロルカと二七年世代の詩人たち』・藤井貞和著『言葉と戦争』。第41回日本詩人クラブ賞選考委員—川島完(選考委員長), 金子秀夫(書記), 尾花仙朔, 黒羽英二, 小松弘愛, 山田直, 横田英子。第18回日本詩人クラブ新人賞選考委員—宮沢肇(選考委員長), 竹内美智代(書記), 岡野絵里子, 金堀則夫, 佐々木洋一, 野澤俊雄, 星善博。第8回日本詩人クラブ詩界賞選考委員—神品芳夫(選考委員長), 中村不二夫(書記), 諫川正臣, 石原武, 上田周二。
- 4月20日, 添田邦裕逝去。
- 4月22日, 鈴木詢子逝去。
- 4月28日, 足山実逝去。
- 5月10日, 第59回日本詩人クラブ総会を東京大学駒場キャンパス18号館ホールにて開催。12月, 一般社団法人

及び一般財団法人に関する法律施行により、施行後に名称変更することを承認。比留間一成、星野徹両氏を名誉会員とすることを承認。永年会員顕彰（卜部昭二、大賀二郎、添田邦裕、村田辰夫、水谷なりこ、山名将治、渡邊元藏）。海外客員会員承認（メグ・ラジ・シャルマ・マンジュール）。

- 6月12日、山口格郎逝去。
- 6月13日、岡崎澄衛（永年会員）逝去。
- 6月14日、第16回関西大会を大阪市トーコーシティホテルにて開催。（講演）鳥田陽子。（小講演）下村和子、蔭山辰子。
- 6月30日、「詩界通信」No40発行。
- 7月8日、いわ・たろう逝去。
- 7月28日～8月3日、第14回詩書画展を銀座の地球堂にて開催。
- 8月24日、中岡淳一逝去。
- 9月30日、雑誌「詩界」通巻253号発行。
- 9月30日、「詩界通信」No41発行。
- 10月21日、小島禄琅逝去。
- 11月1日、五喜田正巳（永年会員）逝去。
- 11月27日、千葉龍逝去。
- 11月30日、「詩界通信」No42発行。
- 12月13日、国際交流の集い及び忘年会開催。アンバル・パスト氏（メキシコの女性詩人）—マヤ・アステカ文化を語り、自作詩を読む。
- 12月28日、橋口しほ逝去。

平成21年（2009年）

- 1月13日、星野徹（名誉会員・第13回日本詩人クラブ賞受賞）逝去。
- 2月12日、藤田信隆逝去。
- 2月20日、『日本現代詩選』第34集発行。
- 2月20日、「詩界通信」No43発行。
- 3月31日、雑誌「詩界」通巻第254号発行。
- 3月31日、「詩界通信」No44発行。
- 4月11日、日本出版クラブ会館にて、日本詩人クラブ三賞贈呈式開催。第42回日本詩人クラブ賞は清水茂詩集『水底の寂かさ』、第19回日本詩人クラブ新人賞は斎藤恵子詩集『無月となのはな』、第9回日本詩人クラブ詩界賞は井田三夫評論『テオフィル・ド・ヴィオー 文学と思想』。第42回日本詩人クラブ賞選考委員—伊勢山峻、岡崎純、たかとう匡子、中原道夫（委員長）、溝口章、三田洋、保坂登志子（書記）。第19回日本詩人クラブ新人賞選考委員—飯島正治（委員長）、川中子義勝、川上明日夫、黒羽由紀子（書記）、瀬崎祐、高橋次夫、原田道子。第9回日本詩人クラブ詩界賞選考委員—大塚欽一、清水茂（委員長）、中村不二夫（書記）、西岡光秋、細野豊。
- 5月9日、日本詩人クラブ臨時総会及び第60回日本詩人クラブ総会を、東京大学駒場キャンパス・ファカルティハウスにて開催。臨時総会議案は一般社団法人への移行について。第59回総会で一般社団法人への移行の決議後、名称変更等の手続きを進めることが承認されたが、公益性を持つ団体としての定款の承認及び現理事会を一般社団法人日本詩人クラブ理事会として承認。第60回通常総会は新役員選出結果の承認（会長・比留間一成、理事長・細野豊）。名誉会員承認・顕彰（故・寛楨二）。永年会員顕彰（浅野章子、名古屋哲夫、薬師川虹一、山路峯男）。
- 6月4日、菊地貞三（第28回日本詩人クラブ賞受賞）逝去。
- 6月13日、岡山大会を岡山市ピュアリティ「まきび」にて開催。（小講演）高田千尋。（講演）富長覚梁。

- 6月27日, 関野和美逝去。
- 6月30日, 「詩界通信」No45発行。
- 7月18日, 長野県現代詩ゼミナール(県詩人協会共催)を諏訪市ホテル鷺ノ湯で開催。(ミニ講演)酒井力。(講演)石原武。
- 7月26日, 二瓶徹逝去。
- 8月23日, 天彦五男(元会長)逝去。
- 9月30日, 「詩界通信」No46発行。
- 9月30日, 雑誌「詩界」通巻255号発行。
- 11月5日, 水谷清(第4回日本詩人クラブ詩界賞受賞者)逝去。
- 11月30日, 「詩界通信」No47発行。
- 12月12日, (社)日本詩人クラブ創立60周年記念国際交流インド2009・忘年会開催。「タゴール以後のインド詩—多言語国家の詩文学」講演・シュニル・ゴンゴバッドエ, 白田雅之, 丹羽京子。

平成22年(2010年)

- 1月30日, 谷内田ゆかり逝去。
- 2月16日, 古田のい子逝去。
- 2月20日, 「詩界通信」No48発行。
- 2月22日, 高石貴逝去。
- 3月31日, 雑誌「詩界」通巻256号発行。
- 3月31日, 「詩界通信」No49発行。
- 4月10日, 日本詩人クラブ三賞贈呈式を日本出版クラブ会館で開催。第43回日本詩人クラブ賞・裕杏子詩集『水の声』, 第20回日本詩人クラブ新人賞・伊与部恭子詩集『来訪者』, 倉本侑未子詩集『真夜中のパルス』, 第10回日本詩人クラブ詩界賞・川中子義勝編・訳『神への問い』(ベルンハルト・ガイエック著)。第43回日本詩人クラブ賞選考委員一禿慶子(委員長), 北岡淳子(書記)井奥行彦, 諫川正臣, 武子和幸, 西岡光秋, 山田直。第20回日本詩人クラブ新人賞選考委員一新延拳(委員長), 齋藤貢(書記), 鈴木豊志夫, 竹内美智代, 中井ひさ子, 布川鶴, 松尾静明。第10回日本詩人クラブ詩界賞選考委員一石原武(委員長), 太原千佳子(書記), 井田三夫, 神品芳夫, 中村不二夫。
- 5月8日, 創立60周年記念関西大会をホテルアウイーナ大阪で開催。講演①木津川計, 講演②志賀英夫。
- 6月12日, 第61回日本詩人クラブ総会を東京大学駒場キャンパス・ファカルティハウスにて開催。三賞担当理事の辞任とそれに伴う後任として大掛史子氏の就任が承認された。新入会員承認に関する内規・日本詩人クラブ詩界賞選考規準一部改正承認他。名誉会員の承認・顕彰(志賀英夫, 故・正富汪洋)。永年会員の顕彰(大井康暢, 篠原正行, 瀧葉子, 竹内正企, 館内尚子, 長岡昭四郎, 野島茂, 丸本明子, 森ちふく, 森本敏子)。海外客員会員の承認(シュニル・ゴンゴバッドエ〈インド〉, アンバル・パスト〈メキシコ〉)。
- 6月14日, 姨嶋とし子逝去。
- 6月30日, 「詩界通信」No50発行。
- 7月21日, 大森隆夫逝去。
- 7月26日, 川端律子逝去。
- 7月26日～8月1日, 第15回日本詩人クラブ詩書画展を銀座地球堂ギャラリーにて開催。
- 8月6日, 大林しげる逝去。
- 9月7日, 飯島正治逝去。
- 9月30日, 雑誌「詩界」通巻257号発行。
- 9月30日, 「詩界通信」No51発行。
- 10月30日, 柳原省三逝去。

- 10月31日, 畑田恵利子逝去。
- 11月6日, 日本詩人クラブ創立60周年記念「東京詩祭2010」を明治記念館にて開催。第1部 (社)日本詩人クラブ60年の歩み・地方大会の歩み, 他。第2部「世界から見る源氏物語、物語から見る詩」講師・藤井貞和。第3部「日本現代詩選・第35集」より「東京詩祭2010」受賞作品10篇を受賞者ほかが朗読。受賞者は, 杉谷昭人, 鷹取美保子, 小松弘愛, 日笠美美子, 小寺雄造, 金堀則夫, 北野一子, 宗昇, あさい裕子, 入谷寿一。第4部「日本の歌・童謡を歌う」瀬川千里・里の秋合唱団。
- 11月6日, 『日本現代詩選』第35集発行。
- 11月24日, 倉内智男逝去。
- 11月30日, 「詩界通信」No52発行。
- 12月12日, 創立60周年記念「国際交流ネパール2010」を, ネパールの詩人のマンジュール氏を迎えて, 東京の芝・弥生会館にて開催。
- 12月25日, 山口静雄(会友)逝去。

平成23年(2011年)

- 1月29日, 上田周二(永年会員)逝去。
- 1月30日, 土井敦夫逝去。
- 2月10日, 前田静秋(永年会員)逝去。
- 2月20日, 「詩界通信」No53発行。
- 3月5日, 鈴木敏幸(元会長)逝去。
- 3月9日, 設楽信子逝去。
- 3月31日, 「詩界通信」No54発行。
- 4月7日, 小山和郎逝去。
- 4月9日, 日本詩人クラブ三賞贈呈式を日本出版クラブ会館で開催。第44回日本詩人クラブ賞・北岡淳子詩集『鳥まばたけば』, 第21回日本詩人クラブ新人賞・渡辺めぐみ詩集『内在地』, 第11回日本詩人クラブ詩界賞・呉世宗著『リズムと抒情の詩学—金時鐘と「短歌的抒情の否定」』。第44回日本詩人クラブ賞選考委員—清水茂(委員長), 原田道子(書記), 川島完, 高田太郎, 福原恒雄, 薬師川虹一, 吉野令子。第21回日本詩人クラブ新人賞選考委員—狩野敏也(委員長), 高山利三郎(書記), 岡野絵里子, 斎藤恵子, 白井知子, 高橋次夫, 中村吾郎。第11回日本詩人クラブ詩界賞選考委員—神品芳夫(委員長), 太原千佳子(書記), 石原武, 佐々木久春, 橋浦洋志。
- 4月18日, 島田陽子逝去。
- 5月13日, 山口惣司逝去。
- 5月14日, 茨城大会を水戸市の三の丸ホテルで開催。(小講演)橋浦洋志。(講演)一色真理。
- 5月23日, 相馬大(永年会員)逝去。
- 6月11日, 第62回日本詩人クラブ総会を東京大学駒場キャンパス・ファカルティハウスにて開催。規約の一部改正(第6条・2)承認。新役員選出結果の承認(会長・清水茂, 理事長・川中子義勝)。名誉会員承認・顕彰(石原武, 西岡光秋, 故・高橋渡)。永年会員顕彰(小田島朗, 瀬谷耕作, 橋爪文, 前田孝一, 丸山勝久, 吉川朔子)。
- 6月30日, 「詩界通信」No55発行。
- 7月2日, 立川喜美子逝去。
- 8月21日, 緒方喜久子逝去。
- 9月16日, 中村洋子逝去。
- 9月22日, 佐藤敏(永年会員)逝去。
- 9月30日, 雑誌「詩界」通巻258号発行。

- 9月30日, 「詩界通信」No.56発行。
- 10月4日, 中谷俊逝去。
- 10月9日, 「国際交流韓国2011」を東京の芝・弥生会館にて開催。(基調講演)金南祚。(講演)金后蘭, 佐川亜紀。
- 11月3日, 笥美代子逝去。
- 11月30日, 「詩界通信」No.57発行。
- 12月6日, 江馬知夫逝去。

平成24年(2012年)

- 1月5日, 平方秀夫逝去。
- 2月1日～8日, 「国際交流タゴールの故郷を訪ねて—生涯150周年のインドへ」を行い, デリー, ニューデリー, コルカタ, シャンティニケタンにてセミナー等の交流。
- 2月8日, 星野由美子逝去。
- 3月31日, 「詩界通信」No.58発行。
- 3月31日, 雑誌「詩界」通巻259号発行。
- 4月14日, 日本詩人クラブ三賞贈呈式を東京大学駒場キャンパス21KOMCEEレクチャーホールで開催。第45回日本詩人クラブ賞・一色真理詩集『エス』, 第22回日本詩人クラブ新人賞・大野直子詩集『化け野』, 第12回日本詩人クラブ詩界賞・井上輝夫著『詩想の泉をもとめて』, 同特別賞・西條八束著・西條八峯編『父・西條八十の横顔』。第45回日本詩人クラブ賞選考委員—小柳玲子(委員長), 裕杏子(書記), 石原武, 禿慶子, 富長覚梁, 比留間一成, 丸山勝久。第22回日本詩人クラブ新人賞選考委員—吉田義昭(委員長), 柳生じゅん子(書記), 大瀬孝和, 小川英晴, 鈴木有美子, 星善博, 溝口章。第12回日本詩人クラブ詩界賞選考委員—太原千佳子(委員長), 富岡悦子(書記), 井田三夫, 中村不二夫, 橋浦洋志。
- 5月3日, 八重樫哲逝去。
- 5月6日, 大井康暢(永年会員)逝去。
- 5月12日, 第18回関西大会をホテルアウイーナ大阪で開催。講演①山田兼士, 講演②薬師川虹一。
- 5月24日, 伊藤雄一郎逝去。
- 6月2日, 米川征逝去。
- 6月9日, 第63回日本詩人クラブ総会を東京大学駒場キャンパス・ファカルティハウスにて開催。規約の一部改正(「新入会員承認に関する内規」の「1新入会員承認についての考慮事項」, 「日本詩人クラブ賞と日本詩人クラブ新人賞の選考規準」)承認。名誉会員承認・顕彰(森常治, 故・天彦五男, 故・菊地貞三)。永年会員顕彰(加瀬昭, 菊地隆三, 小島青子, 鈴木俊, 星雅彦, 丸地守, 山本美代子)。
- 6月19日, 渋谷晴雄逝去。
- 6月30日, 「詩界通信」No.59発行。
- 7月30日, 杉谷徳蔵(永年会員)逝去。
- 7月30日～8月5日, 第16回日本詩人クラブ詩書画展を銀座・地球堂ギャラリーにて開催。
- 8月1日, タゴール150周年記念号, 日本語版刊行(インド大使館文化センターにおいて出版記念会)。
- 9月30日, 「詩界通信」No.60発行。
- 10月11日, 大石良江逝去。
- 10月13日, 「国際交流韓国2012」を, 王秀英氏を迎えて東大駒場ファカルティハウスにて開催。
- 10月23日, 海外客員会員シュニル・ゴンゴパッタエ逝去。
- 11月1日～4日, 「国際交流・韓国詩人との交流の旅」を行い, 「文学の家」にて交流会を開催。
- 11月30日, 「詩界通信」No.61発行。
- 12月1日, 奥田晴義(永年会員)逝去。

- 12月3日, 関根龍典逝去。

平成25年 (2013年)

- 2月11日, 溝口章逝去。
- 2月26日, 平石三千夫逝去。
- 3月1日, 『日本現代詩選』第36集発行。
- 3月7日, 寺田弘(元会長・名誉会員)逝去。
- 3月31日, 「詩界通信」No.62発行。
- 3月31日, 雑誌「詩界」通巻260号発行。
- 4月6日, 鈴木哲雄逝去。
- 4月13日, 日本詩人クラブ三賞贈呈式を東京大学駒場キャンパス21KOMCEEレクチャーホールで開催。第46回日本詩人クラブ賞・佐川亜紀詩集『押し花』, 岡野絵里子詩集『陽の仕事』, 第23回日本詩人クラブ新人賞・池田順子詩集『水たまりのなかの空』, 第13回日本詩人クラブ詩界賞・中野敏男著『詩歌と戦争 白秋と民衆、総力戦への「道」』。第46回日本詩人クラブ賞選考委員—北岡善寿(委員長), 北岡淳子(書記), 金子秀夫, 柴田三吉, なんば・みちこ, 野澤俊雄, 三田洋。第23回日本詩人クラブ新人賞選考委員—秋元炯(委員長), 宮崎亨(書記), 新井啓子, 江口節, 柴崎聰, 鈴木豊志夫, 高島清子。第13回日本詩人クラブ詩界賞選考委員—佐々木久春(委員長), 太田雅孝(書記), 及川馥, 橋浦洋志, 細野豊。
- 5月11日, 秋田大会を秋田県大潟村のホテル「サンルーラル」にて開催。シンポジウム「詩に向き合う—いわゆる地方と中央」。講演「秋田の近現代文学」高橋秀晴。
- 5月中旬, 木村徳兵衛(永年会員)逝去。
- 6月8日, 第64回日本詩人クラブ総会を東京大学駒場キャンパス・ファカルティハウスにて開催。規約の一部改正(一般社団法人日本詩人クラブ役員選出細目・附則6)承認。新役員選出結果の承認(会長・細野豊, 理事長・川中子義勝)。名誉会員の承認・顕彰(故・西條嫩子, 故・島田陽子)。永年会員顕彰(磯貝景美江, 大木てるよ, 岡三沙子, 笠井剛, 禿慶子, 佐藤勝太, 佐藤鶴磨, 野澤俊雄)。
- 6月10日, 布留川洋子逝去。
- 6月30日, 「詩界通信」No.63発行。
- 7月10日, 水野谷世界(永年会員)逝去。
- 7月22日, 桑原啓善(永年会員)逝去。
- 8月22日, 鈴木孝逝去。
- 9月6日, 瀬戸文一逝去。
- 9月30日, 「詩界通信」No.64発行。
- 10月11日, 木下幸三逝去。
- 11月9日, 「国際交流トルコ2013」を東京大学駒場キャンパス・21KOMCEEレクチャーホールにて開催。(講演)石井啓一郎, イナン・オネル, メフメット・アイジュ。
- 11月24日, 和田健(永年会員)逝去。
- 11月30日, 「詩界通信」No.65発行。
- 12月13日, 卜部昭二(永年会員)逝去。
- 12月30日, 品川美智子逝去。
- 12月, 笹本正樹逝去。

平成26年 (2014年)

- 1月20日, 伊勢山峻逝去。
- 3月31日, 「詩界通信」No.66発行。
- 3月31日, 雑誌「詩界」通巻261号発行。

- 4月2日, 藤波透逝去。
- 4月12日, 日本詩人クラブ三賞贈呈式を東京大学駒場キャンパス21KOMCEEレクチャーホールで開催。第47回日本詩人クラブ賞・金堀則夫詩集『畦放』, 第24回日本詩人クラブ新人賞・中島真悠子詩集『錦繡植物園』, 第14回日本詩人クラブ詩界賞・坂本正博著『金子光晴「寂しさの歌」の継承—金井直・阿部謹也への系譜』。第47回日本詩人クラブ賞選考委員—麻生直子(委員長), 武子和幸(書記), 黒羽由紀子, 鈴木漠, 西岡光秋, 保坂登志子, 山本みち子。第24回日本詩人クラブ新人賞選考委員—黒羽英二(委員長), 原田道子(書記), 瀬崎祐, 中井ひさ子, 中村吾郎, 布川鴉, 渡辺めぐみ。第14回日本詩人クラブ詩界賞選考委員—佐久間隆史(委員長), 富岡悦子(書記), 太田雅孝, 小川英晴, 佐々木久春。
- 4月17日, 山名キミ子(永年会員)逝去。
- 4月29日, 山本龍生逝去。
- 5月10日, 第19回関西大会をホテルアウィーナ大阪で開催。講演①高階杞一, ②田中国男。
- 5月14日, 下村和子逝去。
- 5月16日, 瀬谷耕作(永年会員)逝去。
- 5月26日, 山名將治(永年会員)逝去。
- 6月14日, 第65回日本詩人クラブ総会を東京大学駒場キャンパス・ファカルティハウスにて開催。規約の一部改正(役員選出細目第4条, 同附則。三賞選考委員会細則)承認。名誉会員の承認・顕彰(富長覚梁・丸山勝久)。永年会員顕彰(荒川清彦, いちぢ・よしあき, 植野正治, 金子秀夫, たなか・けんじ, 野老比左子, 中原道夫, 町田多加次)。海外客員会員の承認(金南祚, 金后蘭)。
- 6月21日, 佐藤孝逝去。
- 6月23日~28日, 第17回日本詩人クラブ詩書画展を銀座・地球堂ギャラリーにて開催。
- 6月30日, 「詩界通信」No67発行。
- 9月14日, 青木洋子逝去。
- 9月30日, 「詩界通信」No68発行。
- 10月11日, 「国際交流カリブ2014」を東京大学駒場キャンパス21KOMCEEレクチャーホールにて開催。第一部—エドワード・ボウ博士による「英語圏カリブの詩」。第二部—ジャマイカ詩人と日本詩人のコラボレーション。
- 10月19日, 大塚理枝子逝去。
- 11月27日, 田代美美子氏逝去。
- 11月30日, 「詩界通信」No69発行。

平成27年(2015年)

- 1月3日, 山崎佐喜治逝去。
- 1月8日, 松下のりを逝去。
- 1月22日, 進一男(永年会員)逝去。
- 2月20日, 高橋良雄(名誉会員)逝去。
- 2月23日, 森常治(名誉会員)逝去。
- 3月21日, 大野杏子逝去。
- 3月30日, 『日本現代詩選』第37集発行。
- 3月31日, 「詩界通信」No70発行。
- 4月11日, 日本詩人クラブ三賞贈呈式を東京大学駒場キャンパス21KOMCEEレクチャーホールで開催。第48回日本詩人クラブ賞・柴田三吉詩集『角度』, 第25回日本詩人クラブ新人賞・石下典子詩集『うつつみ』, 第15回日本詩人クラブ詩界賞・富岡悦子著『パウル・ツェランと石原吉郎』。第48回日本詩人クラブ賞選考委員—齋藤貢(委員長), 佐川亜紀(書記), 禿慶子, 川島完, 北岡淳子, 古屋久昭, 薬師川虹一。第25回日本詩

人クラブ新人賞選考委員—竹内美智代（委員長），吉田義昭（書記），岡隆夫，谷口ちかえ，野仲美弥子，橋浦洋志，長谷川忍。第15回日本詩人クラブ詩界賞選考委員—武子和幸（委員長），太原千佳子（書記），太田雅孝，小川英晴，木村淳子。

- 4月30日，雑誌「詩界」通巻262号発行。
- 5月9日，山梨大会を甲府・桜座にて開催。第一部・対談「詩を如何に醸成させるか」尾世川正明，瀬崎祐。第二部・講演「山河の詩情」三枝昂之。第三部「甲斐の民話」藤巻愛子。
- 5月29日，笠井剛（永年会員）逝去。
- 6月5日，神尾達夫逝去。
- 6月13日，第66回日本詩人クラブ総会を東京大学駒場キャンパス・18号館ホールにて開催。規約の一部改正（永年会員について—規約第3章・第6条及び顕彰に関する内規。新入会員承認に関する内規への条文の追加）。新役員選出結果の承認（会長・武子和幸，理事長・太田雅孝）。永年会員顕彰（我妻信夫，飯島幸子，太田富子，小倉勢以，小松弘愛，小柳玲子，高部勝衛，戸上寛子，外村文象，虎岩壮知，中西衛，日高滋，福原恒雄，若山紀子）。
- 6月29日，内藤健治逝去。
- 6月30日，「詩界通信」No71発行。
- 7月20日，伊勢田史郎逝去。
- 7月24日，小川アンナ（永年会員）逝去。
- 9月30日，「詩界通信」No72発行。
- 10月6日，諫川正臣逝去。
- 10月8日，黄河陽子（永年会員）逝去。
- 10月10日，「国際交流スペイン2015」をグラナダの詩人、ペドロ・エンリケス氏を講師に迎えて、スペインの政府機関であるセルバンテス文化センター東京との共催で、同・文化センター東京の大ホールにて開催。講演・朗読・フラメンコ公演（鍵田真由美舞踏団）他。
- 10月13日，河井洋逝去。

平成28年（2016年）

- 3月31日，「詩界通信」No74発行。
- 4月9日，日本詩人クラブ三賞贈呈式を東京大学駒場キャンパス21KOMCEEレクチャーホールで開催。第49回日本詩人クラブ賞・林 嗣夫詩集『そのようにして』，第26回日本詩人クラブ新人賞・颯木あやこ詩集『七番目の鉱石』，第16回日本詩人クラブ詩界賞・坂該当者なし。第49回日本詩人クラブ賞選考委員—裕杏子（委員長），柴田三吉（書記），大掛史子，小柳玲子，松尾静明，千木貢，細野豊。第26回日本詩人クラブ新人賞選考委員—根本明（委員長），中村吾郎（書記），大野直子，白井知子，高山利三郎，柳生じゅん子，中井ひさ子。第16回日本詩人クラブ詩界賞選考委員—三田洋（委員長），富岡悦子（書記），國中治，桑原真夫，橋浦洋志。
- 4月13日，中村泰三逝去。
- 4月30日，雑誌「詩界」通巻263号発行。
- 5月1日，館林早苗（永年会員）逝去
- 5月14日，第20回関西大会をホテルアウイーナ大阪で開催。講演①河津聖恵，②中西弘貴，淺山泰美。
- 6月11日，第67回日本詩人クラブ総会を東京大学駒場キャンパス・18号館ホールにて開催。規約の一部改正（永年会員について「永年会員顕彰に関する内規」）承認。永年会員顕彰（うめだけんさく，植木肖太郎，小原祥子，小原麗子，相良蒼生夫，周田幹雄，宗昇，高橋次夫，椿原頌子，古屋志づゑ，山本十四尾）。
- 6月20日～25日，第18回日本詩人クラブ詩書画展を銀座・地球堂ギャラリーにて開催。
- 6月30日，「詩界通信」No75発行。

- 8月15日, 畑野信太郎逝去
- 8月22日, 周田幹雄(永年会員)逝去
- 8月28日, 葉山修平逝去
- 8月28日, 西岡光秋(名誉会員)逝去
- 9月10日, 「詩界通信」No.76発行。
- 10月8日, 「国際交流中国2016」を東京大学駒場キャンパス21KOMCEEレクチャーホールにて開催。講演—田原「日中翻訳詩について」。
- 11月30日, 「詩界通信」No.77発行。
- 12月25日, 朝比奈宣英(永年会員)逝去。
- 12月30日, 志賀英夫(名誉会員)逝去。
- 12月31日, 植松孫一逝去。

平成29年(2017年)

- 3月7日, 日高滋(永年会員)逝去。
- 3月31日, 「詩界通信」No.78発行。
- 4月8日, 日本詩人クラブ三賞贈呈式を日本出版クラブ会館で開催。第50回日本詩人クラブ賞・岡隆夫詩集『馬あせい』、第27回日本詩人クラブ新人賞・草野早苗詩集『夜の聖堂』、第17回日本詩人クラブ詩界賞・亀井俊介著『日本近代詩の成立』、同特別賞・清水茂著『私の出会った詩人たち』。第50回日本詩人クラブ賞選考委員—北岡淳子(委員長)、長谷川忍(書記)、佐川亜紀、たかとう匡子、中村吾郎、山田隆昭、山本みち子。第27回日本詩人クラブ新人賞選考委員—塚本敏雄(委員長)、林哲也(書記)、秋元炯、神田さよ、黒羽由紀子、中島悦子、吉田義昭。第17回日本詩人クラブ詩界賞選考委員—加藤廣行(委員長)、富岡悦子(書記)、白田雅之、小林弘明、佐藤伸宏。
- 4月9日, 八坂俊生逝去。
- 4月18日, 直原弘道逝去。
- 4月30日, 雑誌「詩界」通巻264号発行。
- 5月13日, 鹿児島大会をホテルイン鹿児島で開催。講演「宮沢賢治／人と詩と音楽と」宮沢和樹。ピアノと詩の朗読・宮沢やよい。鼎談「詩人の血／維新の血」宮沢和樹・西郷隆夫・高岡修。
- 5月29日, 鈴木満(第20回日本詩人クラブ賞受賞・永年会員)逝去。
- 5月31日, 山本治子逝去。
- 6月10日, 第68回日本詩人クラブ総会を板橋区立グリーンホール601号室にて開催。規約の一部改正(永年会員に関する内規)。新役員選出結果の承認(会長・川中子義勝、理事長・長尾雅樹)。永年会員顕彰(秋田高敏、綾部清隆、岡崎純、川奈静、川村慶子、小寺雄造、高瀬靖、津坂治男、前川幸雄、山城百合、吉田章子)。
- 6月5日, 山田寂雀(永年会員)逝去。
- 6月12日, 岡崎純(永年会員)逝去。
- 6月30日, 「詩界通信」No.79号発行。
- 7月1日, 山佐木進逝去。
- 8月21日, 山形一至逝去。
- 9月30日, 「詩界通信」No.80号発行。
- 10月14日, 「国際交流フィンランド2017」を日本出版クラブ会館で開催。講演動画「フィンランド文学への日本文学の影響」カイ・ニエミネン。講演「カレワラから現代作品まで貫くフィンランド文学の本質」末延弘子。カンテレ演奏(フィンランド楽器)はざた雅子。
- 11月30日, 「詩界通信」No.81号発行。

- 12月1日、『日本現代詩選』第38集発行。
- 12月、江良亜来子逝去。
- 12月30日、いちぢ・よしあき（永年会員）逝去。

平成30年（2018年）

- 2月1日、山崎豊彦逝去。
- 2月10日、高部勝衛（永年会員）逝去。
- 3月4日、比留間一成（名誉会員）逝去。
- 3月12日、倉石長彦逝去。
- 3月20日、石原武（名誉会員）逝去。
- 3月27日、小島青子（永年会員）逝去。
- 3月31日、「詩界通信」No82発行。
- 4月14日、日本詩人クラブ三賞贈呈式を日本出版クラブ会館で開催。第51回日本詩人クラブ賞・中井ひさ子詩集『渡邊坂』、第28回日本詩人クラブ新人賞・岡田ユアン詩集『水天のうつろい』、第18回日本詩人クラブ詩界賞・たかとう匡子著『私の女性詩人ノートⅡ』。第51回日本詩人クラブ賞選考委員―柴田三吉（委員長）、竹内美智代（書記）、禿慶子、武子和幸、中原道夫、原田道子、松尾静明。第28回日本詩人クラブ新人賞―宮崎亨（委員長）、岡野絵里子（書記）、金堀則夫、狩野敏也、下川敬明、谷口典子、渡辺めぐみ。第18回日本詩人クラブ詩界賞選考委員―細野豊（委員長）、加藤廣行（書記）、富岡悦子、中野敏男、橋浦洋志。
- 4月、篠原正行（永年会員）逝去。
- 4月19日、遠山信男逝去。
- 4月30日、雑誌「詩界」第265号発行。
- 5月12日、第21回関西大会をホテルアウイーナ大阪で開催。講演「詩と現実との関わり」細見和之。落語・笑福亭智丸。
- 5月22日、尾花仙朔逝去。
- 5月30日、古屋志づゑ（永年会員）逝去。
- 6月9日、第69回日本詩人クラブ総会を早稲田奉仕園・リバティホールで開催。規約制定「日本詩人クラブ功労顕彰に関する内規」。規約改正「永年会員についての内規」の廃止。名誉会員承認・顕彰（神品芳夫、清水茂）。永年会員顕彰（荒井愛子、入谷寿一、落合純子、佐藤春子、宗美津子、戸井みちお、原子修、山田ネミ）。
- 6月30日、「詩界通信」No83発行。
- 7月28日、森田進逝去。
- 8月22日、村川逸司逝去。
- 9月1日、石村柳三逝去。
- 9月17日、渡邊元藏逝去。
- 9月30日、「詩界通信」No84発行。
- 10月13日、国際交流2018「研究者・翻訳家たちの万国旗」を板橋区立グリーンホール601号室で開催。川中子義勝（コメンテーター）、神品芳夫、佐川亜紀、清水茂、谷口ちかえ、富岡悦子、中原道夫、丹羽京子、細野豊、薬師川虹一。
- 11月30日、「詩界通信」No85発行。
- 12月13日、千木貢逝去。
- 12月25日、福司満逝去。
- 藤田博子逝去（死亡日不明）。

平成31年（2019年）

- 1月6日、齊藤征義逝去。
- 1月15日、釣部与志逝去。
- 1月30日、中村花木逝去。
- 2月3日、狩野敏也逝去。
- 2月9日、笠原三津子（永年会員）逝去。
- 2月11日、霧林道義（永年会員）逝去。
- 3月13日、丸山勝久（名誉会員）逝去。
- 3月23日、佐藤勝太（永年会員）逝去。
- 3月30日、「詩界通信」№86発行。
- 4月13日、日本詩人クラブ三賞贈呈式を東京グランドホテルで開催。第52回日本詩人クラブ賞・高橋次夫詩集『石の懐』、第29回日本詩人クラブ新人賞・川井麻希詩集『あらゆる日も夜も』・田中俊輔詩集『実存の架け橋』、第19回日本詩人クラブ詩界賞・細見和之著『「投壘通信」の詩人たち』。第52回日本詩人クラブ賞選考委員一星善博（委員長）、相沢正一郎（書記）、新井啓子、黒羽英二、布川鶴、天野英、江口節。第29回日本詩人クラブ新人賞一花潜幸（委員長）、佐相憲一（書記）、菊田守、齋藤恵子、寺田美由記、細田傳造、石下典子。第19回日本詩人クラブ詩界賞一小林弘明（委員長）、原詩夏至（書記）、金田久璋、中野敏男、橋浦洋志。
- 4月30日、雑誌「詩界」第266号発行。

令和元年（2019年5月1日より）

- 5月11日、「愛知大会2019」をホテル ラブラ王山で開催。講演「現代詩におけるエロティシズム」北川透。講話「丸山薫の生・詩の軌跡」富長覚梁。
- 6月3日、菊田守逝去。
- 6月8日、第70回日本詩人クラブ総会を北区北とびあ7階第1研修室にて開催。新役員選出結果承認（会長・北岡淳子、理事長・佐相憲一）。名誉会員の承認・顕彰（薬師川虹一）。第1回日本詩人クラブ詩界功労顕彰の表彰「福島県矢吹町図書館」。功労顕彰（安部加代、井上嘉明、岩本健、門田照子、木下宣子、木全功子、齋藤勇一、末原正彦、たかとう匡子、武子和幸、田寄芳作、建入登美、三田洋、横田英子）。
- 6月28日、井奥行彦逝去。
- 6月30日、「詩界通信」№87発行。
- 7月5日、水谷なりこ（永年会員）逝去。
- 8月15日、鈴木俊（永年会員）逝去。
- 8月19日、北岡善寿（永年会員）逝去。
- 9月22日、津坂治男（永年会員）逝去。
- 9月25日、田口三船逝去。
- 9月30日、「詩界通信」№88発行。
- 11月30日、「詩界通信」№89発行。
- 12月20日、上野菊江（名誉会員）逝去。

令和2年（2020年）

- 1月11日、創立70周年記念イベント『現代詩東西南北』を早稲田奉仕園スコットホールにて開催。「記念事業について」企画委員長、・中村不二夫。座談会「詩がひらく未来」江口節、川島完、齋藤貢、瀬崎祐。コーディネーター・原田道子。
- 1月16日、清水茂（名誉会員）逝去。

- 2月16日, 早稲田奉仕園にて日本詩人クラブ三賞選考委員会開催。第53回日本詩人クラブ賞・本多寿詩集『風の巣』、第30回日本詩人クラブ新人賞・野口やよい詩集『天を吸って』、第20回日本詩人クラブ詩界賞・野沢啓著『単独者鮎川信夫』。第53回日本詩人クラブ賞選考委員—小川英晴(委員長)、秋元炯(書記)、大掛史子、尾世川正明、川島完、黒羽由紀子、鈴木豊志夫。第30回日本詩人クラブ新人賞選考委員—谷口ちかえ(委員長)、塩野とみ子(書記)、秋山公哉、草薙定、草野早苗、庄司進、洲浜昌三。第30回日本詩人クラブ詩界賞選考委員—太田雅孝(委員長)、川中子義勝(書記)、白田雅之、北岡武司、中村不二夫。(新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が出されたことに伴い、感染防止の観点から贈呈式は延期となった)
- 2月24日, 田村右品逝去。
- 2月24日, 深山鏡子(永年会員)逝去。
- 3月31日, 「詩界通信」No.90発行。
- 4月3日, 雑誌「詩界」第267号発行。
- 5月9日, 開催予定の日本詩人クラブ創立70周年記念「関西大会」は、新型コロナウイルス対策で中止となった。
- 5月9日～6月6日, 文書総会(文書回答形式)にて、第71回(社)日本詩人クラブ総会を開催。これはコロナ禍の緊急変更で「第71回総会開催及び開催方法の変更について」(5月1日付の北岡淳子会長名)とあわせて、総会資料一式と文書回答用紙を全会員に郵送し、総会に必要な回答数を期日内に得て総会は成立、議題は承認された。名誉会員の承認・顕彰(秋吉久紀夫、禿慶子、小松弘愛、佐々木久春、杉谷昭人、原子脩、故・井奥行彦)※上野菊江、清水茂は逝去により物故会員へ。第2回詩界功労顕彰「秋田市の北東北子どもの詩大賞・委員会」。功労顕彰(門林岩雄、小池豊一、洲浜昌三、内藤紀久枝、松尾静明、水野信雅、森口祥子、渡辺宗子)。
- 6月28日, 新井知次逝去。
- 6月30日, 「詩界通信」No.91発行。
- 7月7日, 村田辰夫(永年会員)逝去。
- 7月20日, 創立70周年記念『日本現代詩選』第39集発行。
- 8月26日, 埋田昇二逝去。
- 9月20日, 創立70周年記念冊子『詩がひらく未来』発行。
- 9月30日, 「詩界通信」No.92発行。
- 10月5日, 増田朱躬(永年会員)逝去。
- 11月30日, 「詩界通信」No.93発行。
- 12月10日, 細野豊(顧問)逝去。
- 12月22日, 渡辺宗子(功労会員)逝去。
- 12月24日, 深澤茂樹逝去。
- 12月31日, 吉飼清勇逝去。

令和3年(2021年)

- 2月19日, 田島道逝去。
- 3月14日, 赤羽会館にて三賞選考委員会開催。第54回日本詩人クラブ賞・武子和幸詩集『モイライの眼差し』、第31回日本詩人クラブ新人賞・海東セラ詩集『ドールハウス』、第21回日本詩人クラブ詩界賞・河津聖恵著『「毒虫」詩論序説』、第21回日本詩人クラブ詩界賞 特別賞・西田朋著『鈴木梅子の詩と生涯』。第54回日本詩人クラブ賞選考委員—吉田義昭(委員長)、網谷厚子(書記)、岡野絵里子、柴崎聰、高橋次夫、中久喜輝夫、中原秀雪。第31回日本詩人クラブ新人賞選考委員—橋浦洋志(委員長)、谷口典子(書記)、岡田ユアン、酒井力、武西良和、中尾敏康、峯澤典子。第21回日本詩人クラブ詩界賞選考委員—細野豊(委員長・急逝)、川中子義勝(書記長・委員長代行)、太田雅孝、たかとう匡子、中村不二夫。コロナ禍のため贈呈式

は中止。

- 3月29日, 伊淵大三郎逝去。
- 3月31日, 「詩界通信」No.94発行。
- 3月31日, 「新入会員紹介2020」発行。
- 4月3日, 雑誌「詩界」第268号発行。
- 5月8日, コロナ禍のため「なら大会」中止。記念文集発行。
- 5月31日～6月5日, 文書総会(文書回答形式)にて、第72回(社)日本詩人クラブ総会を開催。(6月5日東京グランドホテルで開催予定であったが、新型コロナ感染防止対策から昨年に続いて急遽変更)。総会資料一式と文書回答用紙を全会員に郵送。回答返信期限は5月31日。新役員選出結果の承認(会長・北岡淳子、理事長・吉田義昭)。名誉会員の承認(中原道夫、野澤俊雄、松尾静明)。物故名誉会員の承認(故・細野豊)。功労顕彰(川上明日夫、雲嶋幸夫、桜井さざえ、司茜、土井正義、堀内みちこ、森下久枝)。第3回詩界功労顕彰「岐阜県養老町『家族の絆・愛の詩』」。
- 6月1日, ささきひろし逝去。
- 6月10日, 荒井愛子逝去。
- 6月12日, 岩重美江逝去。
- 6月30日, 「詩界通信」No.95発行。
- 6月30日, 11月開催予定の創立70周年記念大会プログラム冊子を前もって作成、会員・会友に送付。
- 6月30日, (社)日本詩人クラブの事務所を、新宿区西新宿1-26-2新宿野村ビル32Fから新宿区北新宿2-11-16に移転
- 7月15日, 秋田高敏(永年会員)逝去。
- 9月23日, 有吉篤夫逝去。
- 9月, 長岡昭四郎(永年会員)逝去。
- 9月30日, 「詩界通信」No.96発行。
- 10月10日, 「創立70周年記念大会の中止のお知らせ(新型コロナ感染対策)」を発送。
- 11月1日, 根本昌幸逝去。
- 11月4日, 吉田ゆき子逝去
- 11月6日, 創立70周年を機に、理事会から独立した組織として「将来構想委員会(当該理事会と会長・理事長経験者)を立ち上げ、第1回「将来構想委員会」開催。
- 11月30日, 「詩界通信」No.97発行。

令和4年(2022年)

- 1月1日, 門田照子逝去。
- 2月20日, 山本衛逝去。
- 3月5日, 岩本健逝去。
- 3月31日, 「詩界通信」No.98発行。
- 4月3日, 雑誌「詩界」第269号発行。
- 4月9日, 日本詩人クラブ三賞贈呈式を東京グランドホテルにて開催。新型コロナ(オミクロン株)感染防止のため関係者のみで行い、当日の贈呈式の模様はオンライン(YouTube)で配信した。第55回日本詩人クラブ賞・草野信子詩集『持ちもの』、第32回日本詩人クラブ新人賞・二条千河詩集『亡骸のクロニクル』、第22回日本詩人クラブ詩界賞 特別賞・苗村吉昭詩集『民衆詩派ルネッサンス 実践版』。※22回日本詩人クラブ詩界賞・該当無し。第55回日本詩人クラブ賞選考委員一瀬崎祐(委員長)、神田さよ(書記)、高山利三郎、根本明、浜江順子、林哲也、望月苑巳。第32回日本詩人クラブ新人賞一佐相憲一(委員長)、天野英(書記)、池田康、沢聖子、峯尾博子、外村京子、八重樫克羅。第22回日本詩人クラブ詩界賞一川中子義勝(委員

長)、網谷厚子(書記)、金田久璋、佐藤伸宏、中村不二夫。

- 4月14日、室井大和逝去。
- 5月8日、岸田裕史逝去。
- 5月14日、第22回「関西大会」をラッセホール神戸で開催。講演「詩と音楽—詩人が耳をひらくとき」佐々木幹郎。鼎談「近代と現代を結ぶもの—佐々木幹郎の現在詩と中也読みの楽しさ」佐々木幹郎、倉橋健一、たかとう匡子。
- 6月11日、第73回総会を赤羽会館小ホールにて開催。名誉会員承認・顕彰(金子秀夫、中村不二夫)。功労会員顕彰(金子以左生、五味里美、鈴木千壽、剣持昭義、佐久間隆史、名古きよえ、西田義篤、保高一夫、前原正治、宮田小夜子)。第4回詩界功労顕彰の表彰(茨城県下妻市「わらべうたあそびランド詩集編集委員会」)。
- 6月30日、「詩界通信」No.99発行。
- 7月21日、杜みち子逝去。
- 7月28日、高橋絹代逝去。
- 8月2日、野澤俊雄(名誉会員)逝去。
- 9月14日、志田信男逝去。
- 9月30日、「詩界通信」No.100発行。
- 11月20日、井上敬二逝去。
- 11月30日、「詩界通信」No.101発行。